

調査資料報

令和8年2月

特集

- 1 令和7年議会活動の回顧

お知らせ

- 1 議長会等の動き
- 2 委員会だより
- 3 図書室だより

長崎市議会事務局

目 次

特集 令和7年議会活動の回顧	3
海外行政視察報告	35
議長会等の動き	94
委員会だより	96
図書室だより	99

長崎市の人口・面積（前年との比較）

	令和8年2月1日	令和7年2月1日	増 減
人 口	381,852 人	386,941 人	5,089 人
男	176,415 人	178,719 人	2,304 人
女	205,437 人	208,222 人	2,785 人
世帯数	185,527 世帯	185,948 世帯	421 世帯
面 積	405.69k m ²	405.69k m ²	-

人口、世帯数については推計人口

特集 令和7年議会活動の回顧

目 次

1	議会開催の状況	4
2	審議案件議決状況	
	議員提出議案	5
	市長提出議案	11
	請願	27
	陳情	28
3	委員会の月別開催状況	30
4	委員会等の審査状況	31
5	委員会の行政視察状況	
	常任委員会行政視察	32
	議会運営委員会行政視察	32
	特別委員会行政視察	33
6	他都市からの行政視察受入状況（令和8年2月中旬現在）	34

1 議会開催の状況

(単位：件)

議会の区分	会期 (日間)	会議日数		計	市長提出議案・報告(件)								議員提出議案(件)						請願	会議時間		市 政 一般質問 (人)
		本会議 (日)	委員会 (日)		小計	条例	予算	人事	決算	契約	財産 取得 処分	その他		諮問	条例等	意見書	決議	附帯 決議		本会議	委員会	
												議案	報告等									
計	85	25	24	273	263	108	45	9	14	28	8	19	32	0	2	3	1	1	3	70時間 36分	258時間 53分	代表5 個人55
第1 回臨時 会	1/23 1日間	1	1	10	9	0	5	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	38分	7時間 41分	
第2 回定例 会	2/19 ~3/13 23日間	6	7	53	51	13	20	4	0	7	1	5	1	0	1	0	0	0	1	18時間 20分	102時間 26分	代表5 個人10
第3 回定例 会	6/9 ~6/26 18日間	6	5	50	48	8	5	2	0	9	5	1	18	0	0	1	1	0	0	16時間 44分	44時間 59分	個人15
第4 回定例 会	9/5 ~9/29 25日間	6	5	97	96	77	2	3	0	5	2	3	4	0	0	1	0	0	0	17時間 19分	60時間 28分	個人15
第5 回定例 会	11/25 ~12/12 18日間	6	6	63	59	10	13	0	14	7	0	10	5	0	1	0	0	1	2	17時間 35分	43時間 19分	個人15

委員会の会議時間については、現地調査の時間は含めていない。
 委員会の会議日数及び会議時間については、議会運営委員会は含めていない。
 継続審査となった議案については、議決した定例会にのみ含める。

2 審議案件議決状況
議員提出議案

議案番号	件 名	議決月日 結 果	提出会派
議第1号	核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書について	1・23 可 決	各派共同 賛成多数 (P 6 参照)
議第2号	長崎市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	3・13 原案可決	各派共同 全会一致
議第3号	被爆 80 周年の決議について	6・26 可 決	各派共同 全会一致 (P 7 参照)
議第4号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書について	6・26 可 決	各派共同 全会一致 (P 8 参照)
議第5号	使用料及び手数料の改定に当たり適切な対応を求める意見書について	9・29 可 決	各派共同 賛成多数 (P 9 参照)
議第6号	長崎市議会議員定数条例の一部を改正する条例	11・25 原案可決	各派共同 賛成多数
議第7号	第 213 号議案「地方独立行政法人長崎市立病院機構第 4 期中期計画の変更の認可について」に対する附帯決議について	12・12 可 決	教育厚生委員会 賛成多数 (P 10 参照)

議第 1 号

核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書

ウクライナに侵攻したロシアが核兵器を威嚇に使い、また、北朝鮮も「核戦力強化路線を変えない」と公言するなど、人類はかつてないほどの核の脅威にさらされています。

一方で、核兵器廃絶を求める声は世界的な高まりを見せており、核兵器の開発や保有、使用などを禁止する核兵器禁止条約の批准国は、発効から4年が経過した現在、73か国・地域に達しました。

未批准国であってもオブザーバーとして締約国会議に参加することができ、令和4年6月に開かれた核兵器禁止条約の初めての締約国会議には、NATO加盟国であるノルウェー、ドイツなどがオブザーバーとして参加し、令和5年11月に開かれた第2回締約国会議には35か国がオブザーバー参加しています。

唯一の戦争被爆国であり、核保有国と非核保有国との橋渡しに努めている日本が、多くの非核保有国で構成される締約国会議にオブザーバー参加することにより、非核保有国の意思疎通を図り、そのメッセージを核保有国に伝え、核兵器のない平和な世界の実現に向け、リーダーシップを発揮することが強く求められています。

また、締約国の中には、カザフスタンのように過去に核実験が行われた国もあり、こうした国の被爆者への医療支援などに、日本の様々な知見や経験を役立てることも必要です。

今年は被爆80年の節目の年を迎え、昨年、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞するなど、核兵器廃絶に向けて大きな転機を迎えています。

よって、国会及び政府におかれては、核兵器をめぐる情勢が混迷の様相を呈する今こそ、次の事項を行動に移すことにより、さらに核保有国と非核保有国の橋渡しに努めるなど、核兵器禁止条約の実効性を高めるために主導的役割を果たされるよう強く要請します。

記

- 1 今年3月にニューヨークの国連本部で予定されている核兵器禁止条約第3回締約国会議にオブザーバー参加すること。
- 2 核兵器禁止条約に早期に署名・批准すること。
- 3 その上で、核保有国を含む核兵器禁止条約に署名・批准していない国に対し、署名・批准を要請すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和7年1月23日

長 崎 市 議 会

被爆80周年の決議

80年前の8月9日午前11時2分、私たちのまち長崎で1発の原子爆弾が炸裂した。すさまじい熱線、爆風、放射線によって、まちは一瞬のうちに廃墟となり、約15万人もの人々が死傷し、今なお、心身に深い傷を負った多くの方々が苦しみ続けている。この未曾有の悲劇から、「私たちは長崎を最後の被爆地に」と誓い、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてきた。

この80年間、長崎市は市民と先人たちのたゆまぬ努力により緑豊かな国際文化都市として復興を遂げてきた一方で、被爆者等の苦痛や被爆体験者の救済、核兵器廃絶への取り組みは終わりを見ていない。被爆者の平均年齢は高まり、彼らが刻む「人類への警告」としての証言を次世代に継承することは急務となっている。

また、世界の核兵器廃絶を巡る状況は厳しさを増している。国際社会の分断が深刻化しており、来年開催の核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議において、3回連続で最終文書の合意に至らないのではないかと危機感を強めている。

一方で、核兵器禁止条約の批准国は増加し、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞の受賞など核兵器の非人道性を訴える声は広がりを見せている。

被爆80年に当たり、長崎市議会は市民総意のもとに、ここに改めて決意する。

私たちは被爆地の市民として、被爆者が経験した惨状の記憶を広く世界に伝えるとともに、次世代に継承し、核兵器廃絶への行動を促す責務を果たしていかなければならない。

犠牲になられたすべての方々に心からの哀悼の意を表するとともに、国際社会と連携し、核兵器が完全に廃絶されるその日まで、全力を尽くしていく。

以上、決議する。

令和7年6月26日

長崎市議会

議第4号

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

国連で1979年に採択された女性差別撤廃条約は、ジェンダー平等を実現するための、最も重要な国際基準であり、日本は1985年に批准している。その後、女性差別撤廃条約の実効性を高めるために、1999年に国連で採択されたのが「選択議定書」である。

現在、女性差別撤廃条約の締約国189か国のうち、115か国が選択議定書を批准している中で、日本は未だ批准をしていない。

SDGsの17の目標の第5は、「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」となっている。国は第5次男女共同参画基本計画において、「女子差別撤廃条約の選択議定書については、諸課題の整理を含め、早期締結について真剣な検討を進める」としているが、「検討」以上の進展がない。

日本における男女平等の実現は未だ途上にあり、各国の男女間の格差を示す2025年のジェンダー・ギャップ指数の日本の総合順位は、148か国中118位、先進7か国G7では最下位である。

女性差別撤廃条約選択議定書の批准は、この現状を変え、女性の権利を国際基準にする重要な第一歩である。

よって、国会及び政府においては、女性差別撤廃条約選択議定書を速やかに批准するよう、強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和7年6月26日

長崎市議会

議第5号

使用料及び手数料の改定に当たり適切な対応を求める意見書

令和7年9月定例会において、使用料及び手数料を改定する関係条例の改正議案を審査しました。

長崎市からは、使用料（利用料金の基準）及び手数料について平成4年度以降、消費税改定に伴う料金転嫁を除き改定しておらず、その間も施設運営費等は増加していることから受益者負担の適正化を図るため、受益者負担の原則にのっとりて使用料等を見直したとの説明がっております。

前段の市の見解のとおり、長きにわたりこれらの課題を放置してきたことに加え、このたびの常任委員会の審査においては、条例改正の趣旨について一定の説明はなされているものの、使用料等の算定方針に係る基本的な説明や大幅な使用料の改定に対する説明が不足するなど、利用者に負担増を求める市の姿勢として疑念を抱かざるを得ない状況となっております。

よって、市においては、下記の項目について適切に対応することを強く求めます。

記

- 1 使用料等については、今後の社会情勢の変化や物価上昇、施設の維持管理費の増加等、様々な施設運営の課題を見据える一方、5年ごとの見直しにとらわれることなく条例施行規則等に対応するなど市民にとって必要に応じた見直しを適宜行うこと。
- 2 今回の使用料等の改定については、市民や関係団体に対して十分な合意形成を行うとともに、料金改定に見合ったサービスの向上に努め、市民の負担を減らせるよう利用者の増加を図ること。
- 3 指定管理者制度の導入施設については、現段階での使用料の改定による利用者の増減の予想は難しいが、今回の改定により指定管理の継続に重大な影響が生じる場合は必要な措置を講じること。

以上、意見書を提出します。

令和7年9月29日

長崎市議会

議第7号

第213号議案「地方独立行政法人長崎市立病院機構第4期中期計画の変更の認可について」に対する附帯決議

本議案は、地方独立行政法人長崎市立病院機構（以下「病院機構」という。）の第4期中期計画の変更に係る認可について、議会の議決を経ようとするものである。

病院機構が運営する長崎みなとメディカルセンターにおいては、令和5年度の経常損失は約18億円、令和6年度においては約12億円（減損処理を含めた総損失は約31億円）、資金残高についても令和7年10月末時点で約24億円まで減少するなど厳しい財政状況となっており、令和6年度から令和9年度までの第4期中期計画に行う予定としている診療規模、診療内容、職員数の適正化といった病院機構の構造改革プランを早期に実行していくに当たって第4期中期計画を変更することを認めざるを得ない。

当該センターの安定的な運営のためには、今回の計画変更は避けられないものであることは理解できるものの、病院の経営状況についてはこれまで議会において再三にわたり指摘を行ってきており、このような財政状況に陥ったことは、本中期計画の策定時の見込みが甘く、方針転換の時期を見誤ったものと強く指摘するものである。

市においては、病院機構の設置者である自治体としての責任のもと、本市の地域医療体制の安定的な持続のために当該センターがしっかりと役割を果たしていくよう、以下の点について強く要請する。

- 1 職員数の適正化においては、医業収益を上げるための人件費であることを念頭に、人件費比率の引き下げを目指す中で適正化を図り、市と病院機構が一丸となって持続可能な病院経営に努めること。
- 2 診療内容の適正化においては、長崎県等との協議を行い、当該センターの公的病院としての役割を果たしつつ、診療科の見直しを早期に行うとともに、医療機器や医薬品等の経費節減を図ることで、経営の安定化に努めること。
- 3 本中期計画の残る期間において、上記2点を含め、構造改革プランに基づき新たな収支計画・資金計画を確実に実行し、市においては、執行状況や経営状況の確認を行い、定例会ごとに議会に報告すること。

令和7年12月12日

長崎市議会

市長提出議案

令和7年第1回臨時会(1月)

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第1号	令和6年度長崎市一般会計補正予算(第9号)	1・23	所管の各 常任委員会	1・23	原案可決
第2号	令和6年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算(第3号)	1・23	環境経済	1・23	原案可決
第3号	令和6年度長崎市駐車場事業特別会計補正予算(第2号)	1・23	建設水道	1・23	原案可決
第4号	令和6年度長崎市水道事業会計補正予算(第2号)	1・23	建設水道	1・23	原案可決
第5号	令和6年度長崎市下水道事業会計補正予算(第2号)	1・23	建設水道	1・23	原案可決
第1号報告	専決処分の報告について(法律上市の義務に属する損害賠償の額の決定及び和解について(1件))	1・23	一審議	1・23	報告済
第2号報告	専決処分の報告について(訴訟物の価額が300万円以下の訴えの提起について(1件))	1・23	一審議	1・23	報告済
第3号報告	専決処分の報告について(市営住宅の家賃の支払いに係る和解及び目的物の価額が300万円以下の和解について(14件))	1・23	一審議	1・23	報告済
第4号報告	専決処分の報告について(工事の請負契約の契約の金額の変更について(3件))	1・23	一審議	1・23	報告済

令和7年第2回定例会(2月)

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第6号	監査委員の選任について	3・13	一審議	3・13	同意
第7号	人権擁護委員の候補者の推薦について	3・13	一審議	3・13	同意
第8号	令和6年度長崎市一般会計補正予算(第10号)	2・19	所管の各 常任委員会	3・13	原案可決
第9号	令和6年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算(第4号)	2・19	環境経済	3・13	原案可決

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第 10号	令和 6 年度長崎市国民健康保険事業特別会計補正予算(第 4 号)	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 11号	令和 6 年度長崎市土地取得特別会計補正予算(第 2 号)	2・19	建設水道	3・13	原案可決
第 12号	令和 6 年度長崎市介護保険事業特別会計補正予算(第 4 号)	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 13号	令和 6 年度長崎市水道事業会計補正予算(第 3 号)	2・19	建設水道	3・13	原案可決
第 14号	令和 7 年度長崎市一般会計予算	2・19	所管の各 常任委員会	3・13	原案可決
第 15号	令和 7 年度長崎市観光施設事業特別会計予算	2・19	環境経済	3・13	原案可決
第 16号	令和 7 年度長崎市国民健康保険事業特別会計予算	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 17号	令和 7 年度長崎市土地取得特別会計予算	2・19	建設水道	3・13	原案可決
第 18号	令和 7 年度長崎市中央卸売市場事業特別会計予算	2・19	環境経済	3・13	原案可決
第 19号	令和 7 年度長崎市駐車場事業特別会計予算	2・19	建設水道	3・13	原案可決
第 20号	令和 7 年度長崎市財産区特別会計予算	2・19	総務	3・13	原案可決
第 21号	令和 7 年度長崎市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 22号	令和 7 年度長崎市介護保険事業特別会計予算	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 23号	令和 7 年度長崎市診療所事業特別会計予算	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 24号	令和 7 年度長崎市後期高齢者医療事業特別会計予算	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 25号	令和 7 年度長崎市立病院機構病院事業債管理特別会計予算	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 26号	令和 7 年度長崎市水道事業会計予算	2・19	建設水道	3・13	原案可決

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第 27号	令和 7 年度長崎市下水道事業会計予算	2・19	建設水道	3・13	原案可決
第 28号	長崎市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 29号	長崎市附属機関に関する条例の一部を改正する条例	2・19	総務	3・13	原案可決
第 30号	長崎市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例等の一部を改正する条例	2・19	総務	3・13	原案可決
第 31号	一般職の職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	2・19	総務	3・13	原案可決
第 32号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	2・19	総務	3・13	原案可決
第 33号	長崎市職員等の旅費に関する条例等の一部を改正する条例	2・19	総務	3・13	原案可決
第 34号	長崎市税条例の一部を改正する条例	2・19	総務	3・13	原案可決
第 35号	長崎市立中学校条例の一部を改正する条例	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 36号	長崎市立保育所条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 37号	長崎市都市公園条例の一部を改正する条例	2・19	建設水道	3・13	原案可決
第 38号	長崎市地区計画の区域内における建築物に係る制限に関する条例の一部を改正する条例	2・19	建設水道	3・13	原案可決
第 39号	長崎市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	2・19	建設水道	3・13	原案可決
第 40号	長崎市消防団員退職報償金条例の一部を改正する条例	2・19	総務	3・13	原案可決
第 41号	過疎地域持続的発展市町村計画の変更について	2・19	総務	3・13	原案可決
第 42号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画について（形上辺地）	2・19	総務	3・13	原案可決

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第 43 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画について（桂山辺地）	2・19	総務	3・13	原案可決
第 44 号	工事の請負契約の締結について（琴海中学校校舎ほか解体工事）	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 45 号	工事の請負契約の一部変更について（公用車駐車場等建設ほか工事）	2・19	総務	3・13	原案可決
第 46 号	工事の請負契約の一部変更について（重要文化財旧オルト住宅主屋ほか 2 棟保存修理工事）	2・19	環境経済	3・13	原案可決
第 47 号	工事の請負契約の一部変更について（西町小学校改築主体工事）	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 48 号	工事の請負契約の一部変更について（西町小学校改築管工事）	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 49 号	工事の請負契約の一部変更について（西町小学校改築電気工事）	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 50 号	公の施設の指定管理者の指定について（長崎市障害福祉センター）	2・19	教育厚生	3・13	原案可決
第 51 号	財産の減額譲渡について（伊予島町 1 丁目）	2・19	環境経済	3・13	原案可決
第 52 号	市道路線の認定について（認定 5 件）	2・19	建設水道	3・13	原案可決
第 53 号	包括外部監査契約の締結について	2・19	総務	3・13	原案可決
第 54 号	監査委員の選任について	3・13	一審議	3・13	同意
第 55 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	3・13	一審議	3・13	同意
第 5 号 報 告	専決処分の報告について（法律上市の義務に属する損害賠償の額の決定及び和解について（4 件））	3・13	一審議	3・13	報告済

令和7年第3回定例会(6月)

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第56号	副市長の選任について	6・26	一審議	6・26	同意
第57号	公平委員会の委員の選任について	6・26	一審議	6・26	同意
第58号	令和7年度長崎市一般会計補正予算 (第1号)	6・9	所管の各 常任委員会	6・26	原案可決
第59号	令和7年度長崎市国民健康保険事業特別会 計補正予算(第1号)	6・9	教育厚生	6・26	原案可決
第60号	令和7年度長崎市水道事業会計補正予算 (第1号)	6・9	建設水道	6・26	原案可決
第61号	令和7年度長崎市下水道事業会計補正予算 (第1号)	6・9	建設水道	6・26	原案可決
第62号	令和7年3月31日以前に給与事由の生じた 扶助料及び遺族年金の年額の改定に関する 条例	6・9	総務	6・26	原案可決
第63号	長崎市都市計画の提案に係る規模を定める 条例	6・9	建設水道	6・26	原案可決
第64号	長崎市行政手続における特定の個人を識別 するための番号の利用等に関する法律に基 づく個人番号の利用及び特定個人情報の提 供に関する条例の一部を改正する条例	6・9	総務	6・26	原案可決
第65号	一般職の職員の勤務時間、休日、休暇等に 関する条例の一部を改正する条例	6・9	総務	6・26	原案可決
第66号	長崎市職員の育児休業等に関する条例の一 部を改正する条例	6・9	総務	6・26	原案可決
第67号	長崎市税条例の一部を改正する条例	6・9	総務	6・26	原案可決
第68号	長崎市二輪車等駐車場条例の一部を改正す る条例	6・9	建設水道	6・26	原案可決
第69号	工事の請負契約の締結について(長崎ブリッ クホール大ホール吊物バトン駆動部更新工 事)	6・9	総務	6・26	原案可決
第70号	工事の請負契約の締結について(市道相川町 四杖町1号線地すべり対策工事)	6・9	建設水道	6・26	原案可決

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第71号	工事の請負契約の締結について (三原団地公営住宅新築主体工事)	6・9	建設水道	6・26	原案可決
第72号	工事の請負契約の締結について (三原団地公営住宅新築電気工事)	6・9	建設水道	6・26	原案可決
第73号	工事の請負契約の締結について (三原団地公営住宅新築管工事)	6・9	建設水道	6・26	原案可決
第74号	工事の請負契約の締結について (千歳アパート北棟外壁改修工事)	6・9	建設水道	6・26	原案可決
第75号	工事の請負契約の一部変更について(端島炭坑跡護岸施設補強工事(その3))	6・9	環境経済	6・26	原案可決
第76号	工事の請負契約の一部変更について (長崎駅東通り線橋梁架替工事)	6・9	建設水道	6・26	原案可決
第77号	財産の取得について(機械式ごみ収集車)	6・9	環境経済	6・26	原案可決
第78号	財産の取得について(消防ポンプ自動車)	6・9	総務	6・26	原案可決
第79号	財産の取得について(高規格救急自動車)	6・9	総務	6・26	原案可決
第80号	財産の取得について (高度救命処置用資機材等)	6・9	総務	6・26	原案可決
第81号	財産の取得について(学校給食用食器類)	6・9	教育厚生	6・26	原案可決
第82号	市道路線の認定について(認定5件)	6・9	建設水道	6・26	原案可決
第83号	(仮称)長崎市中部学校給食センター整備運営事業に係る契約の一部変更について	6・9	教育厚生	6・26	原案可決
第84号	令和7年度長崎市一般会計補正予算 (第2号)	6・17	所管の各 常任委員会	6・26	原案可決
第85号	市長及び副市長の給与に関する条例の一部 を改正する条例	6・26	一審議	6・26	原案可決
第6号 報告	令和6年度長崎市一般会計継続費繰越計算書	6・26	一審議	6・26	報告済
第7号 報告	令和6年度長崎市一般会計繰越明許費繰越計算書	6・26	一審議	6・26	報告済

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第8号報告	令和6年度長崎市一般会計事故繰越し繰越計算書	6・26	一審議	6・26	報告済
第9号報告	令和6年度長崎市土地取得特別会計繰越明許費繰越計算書	6・26	一審議	6・26	報告済
第10号報告	令和6年度長崎市土地取得特別会計事故繰越し繰越計算書	6・26	一審議	6・26	報告済
第11号報告	令和6年度長崎市水道事業会計継続費繰越計算書	6・26	一審議	6・26	報告済
第12号報告	令和6年度長崎市水道事業会計予算繰越計算書	6・26	一審議	6・26	報告済
第13号報告	令和6年度長崎市下水道事業会計継続費繰越計算書	6・26	一審議	6・26	報告済
第14号報告	令和6年度長崎市下水道事業会計予算繰越計算書	6・26	一審議	6・26	報告済
第15号報告	専決処分について(長崎市税条例及び長崎市都市計画税条例の一部を改正する条例)	6・26	一審議	6・26	承認
第16号報告	専決処分について(長崎市半島振興対策実施地域を振興するための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)	6・26	一審議	6・26	承認
第17号報告	専決処分について(長崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	6・26	一審議	6・26	承認
第18号報告	専決処分について(長崎市地域経済牽引事業の促進による成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)	6・26	一審議	6・26	承認
第19号報告	専決処分について(長崎市都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する条例の一部を改正する条例)	6・26	一審議	6・26	承認
第20号報告	専決処分の報告について(法律上市の義務に属する損害賠償の額の決定及び和解について(2件))	6・26	一審議	6・26	報告済
第21号報告	専決処分の報告について(市営住宅の明渡しに係る訴えの提起及び訴訟物の価額が300万円以下の訴えの提起について(1件))	6・26	一審議	6・26	報告済
第22号報告	専決処分の報告について(市営住宅の家賃の支払いに係る和解及び目的物の価額が300万円以下の和解について(9件))	6・26	一審議	6・26	報告済

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第23号 報告	専決処分の報告について(工事の請負契約の契約の金額の変更について(3件))	6・26	一審議	6・26	報告済

令和7年第4回定例会(9月)

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第86号	教育委員会の委員の任命について	9・29	一審議	9・29	同意
第87号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	9・29	一審議	9・29	同意
第88号	人権擁護委員の候補者の推薦について	9・29	一審議	9・29	同意
第89号	令和7年度長崎市一般会計補正予算(第3号)	9・5	所管の各 常任委員会	9・29	原案可決
第90号	令和7年度長崎市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第93号	長崎市手数料条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第94号	長崎市議会議員及び長崎市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第95号	長崎市附属機関に関する条例の一部を改正する条例	9・5	建設水道	9・29	原案可決
第96号	長崎市チトセピアホール条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第97号	長崎ブリックホール条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第98号	長崎市市民活動センター条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第99号	市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第100号	長崎市庁舎の会議室等の市民利用に関する条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第101号	長崎市行政財産使用料条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第102号	長崎市立学校施設使用料等条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第103号	長崎市税条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第104号	長崎市手数料条例の一部を改正する条例	9・5	建設水道	9・29	原案可決
第105号	長崎市科学館条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第106号	長崎市恐竜博物館条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第107号	長崎市公民館条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第108号	日吉自然の家条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第109号	長崎市図書館条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第110号	長崎市民会館条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第111号	長崎市文化センター条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第112号	長崎市ふれあいセンター条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第113号	長崎市障害福祉センター条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第114号	長崎市市民センター条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第115号	長崎市銭座地区コミュニティセンター条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第116号	長崎市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第117号	長崎市外海ふるさと交流センター条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第118号	長崎市池島中央会館条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第119号	長崎市離島振興センター条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第120号	長崎市健康づくりセンター条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第121号	長崎市公衆浴場条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第122号	長崎のもさき恐竜パーク条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第123号	長崎市あぐりの丘条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第124号	長崎市体育館条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第125号	長崎市民水泳プール条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第126号	長崎市民アーチェリー場条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第127号	長崎市市民生活プラザ条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第128号	長崎市漁港管理条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第129号	長崎市高島ふれあい海岸条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第130号	長崎市野母崎高浜海岸交流施設条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第131号	長崎市さくらの里条例の一部を改正する条例	9・5	建設水道	9・29	原案可決
第132号	長崎市体験の森条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第133号	長崎市植木センター条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第134号	長崎市農業活性化センター条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第135号	長崎原爆資料館条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第136号	出島メッセ長崎条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第137号	長崎市永井隆記念館条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第138号	グラバー園条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第139号	長崎市索道施設条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第140号	長崎ペンギン水族館条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第141号	長崎市亀山社中記念館条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第142号	長崎市博物館条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第143号	長崎市遠藤周作文学館条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第144号	長崎市ド・ロ神父記念館条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第145号	出島条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第146号	長崎市旧居留地建造物条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第147号	長崎市中の茶屋条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第148号	長崎市心田庵条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第149号	長崎市歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第150号	長崎市伊王島灯台記念館条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第151号	長崎市高島石炭資料館条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第152号	長崎市端島見学施設条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第153号	長崎市軍艦島資料館条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第154号	長崎市動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第155号	長崎市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第156号	長崎市有墓地条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第157号	長崎かもみじ谷葬斎場条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第158号	長崎市夜間急患センター条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第159号	長崎市診療所条例の一部を改正する条例	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第160号	長崎市都市公園条例の一部を改正する条例	9・5	建設水道	9・29	修正可決
第161号	長崎市公園条例の一部を改正する条例	9・5	建設水道	9・29	原案可決
第162号	長崎市黒崎海岸有料シャワー施設条例の一部を改正する条例	9・5	総務	9・29	原案可決
第163号	長崎市屋外広告物条例の一部を改正する条例	9・5	建設水道	9・29	原案可決
第164号	長崎市港湾施設条例の一部を改正する条例	9・5	建設水道	9・29	原案可決
第165号	長崎市駐車場条例の一部を改正する条例	9・5	建設水道	9・29	原案可決
第166号	長崎市二輪車等駐車場条例の一部を改正する条例	9・5	建設水道	9・29	原案可決
第167号	長崎市水道事業給水条例の一部を改正する条例	9・5	建設水道	9・29	原案可決
第168号	長崎市下水道条例の一部を改正する条例	9・5	建設水道	9・29	原案可決

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第169号	長崎市池島炭鉱体験施設条例を廃止する条例	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第170号	財産の取得について(簡易トイレ)	9・5	総務	9・29	原案可決
第171号	財産の取得について(学習者用タッチパネル式ノート型パソコン)	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第172号	工事の請負契約の締結について (公用車駐車場等建設電気工事)	9・5	総務	9・29	原案可決
第173号	工事の請負契約の締結について(端島炭坑跡 護岸施設補強工事(その4))	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第174号	工事の請負契約の締結について (琴海中学校改築主体工事)	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第175号	工事の請負契約の一部変更について (小島小学校改築主体工事)	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第176号	製造の請負契約の締結について(長崎原爆資 料館展示更新実施設計・制作施工)	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第177号	地方独立行政法人長崎市立病院機構第4期 中期計画の変更の認可について	9・5	教育厚生	9・29	原案可決
第178号	仲裁について (新東工場整備運営事業 建設工事)	9・5	環境経済	9・29	原案可決
第179号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の 変更について(京泊3丁目)	9・29	一審議	9・29	原案可決
第24号 報告	専決処分 of 報告について(法律上市の義務に 属する損害賠償の額の決定及び和解につい て(1件))	9・29	一審議	9・29	報告済
第25号 報告	専決処分 of 報告について(訴訟物の価額が 300万円以下の訴えの提起について(2件))	9・29	一審議	9・29	報告済
第26号 報告	専決処分 of 報告について(工事の請負契約の 契約の金額の変更について(5件))	9・29	一審議	9・29	報告済
第27号 報告	令和6年度長崎市一般会計継続費精算報告 書	9・29	一審議	9・29	報告済

令和7年第5回定例会(11月)

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第91号	令和6年度長崎市水道事業会計決算	9・29	建設水道	11・25	認定
第92号	令和6年度長崎市下水道事業会計決算	9・29	建設水道	11・25	認定
第180号	令和6年度長崎市一般会計歳入歳出決算	9・29	所管の各 常任委員会	11・25	認定
第181号	令和6年度長崎市観光施設事業特別会計歳入歳出決算	9・29	環境経済	11・25	認定
第182号	令和6年度長崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	9・29	教育厚生	11・25	認定
第183号	令和6年度長崎市土地取得特別会計歳入歳出決算	9・29	建設水道	11・25	認定
第184号	令和6年度長崎市中央卸売市場事業特別会計歳入歳出決算	9・29	環境経済	11・25	認定
第185号	令和6年度長崎市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	9・29	建設水道	11・25	認定
第186号	令和6年度長崎市財産区特別会計歳入歳出決算	9・29	総務	11・25	認定
第187号	令和6年度長崎市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算	9・29	教育厚生	11・25	認定
第188号	令和6年度長崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	9・29	教育厚生	11・25	認定
第189号	令和6年度長崎市診療所事業特別会計歳入歳出決算	9・29	教育厚生	11・25	認定
第190号	令和6年度長崎市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	9・29	教育厚生	11・25	認定
第191号	令和6年度長崎市立病院機構病院事業債管理特別会計歳入歳出決算	9・29	教育厚生	11・25	認定
第192号	令和7年度長崎市一般会計補正予算 (第4号)	11・25	所管の各 常任委員会	12・12	原案可決
第193号	令和7年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算(第1号)	11・25	環境経済	12・12	原案可決

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第194号	令和7年度長崎市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	11・25	教育厚生	12・12	原案可決
第195号	令和7年度長崎市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	11・25	教育厚生	12・12	原案可決
第196号	長崎市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	11・25	建設水道	12・12	原案可決
第197号	長崎市手数料条例の一部を改正する条例	11・25	建設水道	12・12	原案可決
第198号	長崎市市民センター条例の一部を改正する条例	11・25	総務	12・12	原案可決
第199号	長崎市中心卸売市場業務条例の一部を改正する条例	11・25	環境経済	12・12	原案可決
第200号	長崎市火入れに関する条例の一部を改正する条例	11・25	環境経済	12・12	原案可決
第201号	長崎市都市公園条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	11・25	建設水道	12・12	原案可決
第202号	長崎市建築物における駐車施設の附置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	11・25	建設水道	12・12	原案可決
第203号	長崎市火災予防条例の一部を改正する条例	11・25	総務	12・12	原案可決
第204号	長崎市交通安全対策会議条例を廃止する条例	11・25	総務	12・12	原案可決
第205号	公の施設の指定管理者の指定について(長崎市永井隆記念館)	11・25	教育厚生	12・12	原案可決
第206号	公の施設の指定管理者の指定について(二輪車等駐車場及び長崎駅西口自動車整理場)	11・25	建設水道	12・12	原案可決
第207号	公の施設の指定管理者の指定について(長崎市茂木地区ふれあいセンター)	11・25	総務	12・12	原案可決
第208号	公の施設の指定管理者の指定について(長崎市日見地区ふれあいセンター)	11・25	総務	12・12	原案可決
第209号	公の施設の指定管理者の指定について(長崎市野母崎樺島地区ふれあいセンター)	11・25	総務	12・12	原案可決
第210号	公の施設の指定管理者の指定について(長崎市南部市民センター)	11・25	総務	12・12	原案可決

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第211号	公の施設の指定管理者の指定について (長崎市出津地区ふれあいセンター)	11・25	総務	12・12	原案可決
第212号	公の施設の指定管理者の指定について (長崎市民会館)	11・25	教育厚生	12・12	原案可決
第213号	地方独立行政法人長崎市立病院機構第4期中期計画の変更の認可について	11・25	教育厚生	12・12	原案可決 なお、教育厚生委員会において附帯決議を可決
第214号	土地の取得について(現川町)	11・25	建設水道	12・12	原案可決
第215号	工事の請負契約の締結について (琴海中学校改築管工事)	11・25	教育厚生	12・12	原案可決
第216号	工事の請負契約の締結について (琴海中学校改築電気工事)	11・25	教育厚生	12・12	原案可決
第217号	工事の請負契約の締結について (西町小学校校舎ほか解体工事(2期))	11・25	教育厚生	12・12	原案可決
第218号	工事の請負契約の一部変更について (新東工場整備運営事業 建設工事)	11・25	環境経済	12・12	原案可決
第219号	工事の請負契約の一部変更について (国道202号歩道橋上部ほか工事)	11・25	建設水道	12・12	原案可決
第220号	工事の請負契約の一部変更について (長崎駅東通り線橋梁架替工事)	11・25	建設水道	12・12	原案可決
第221号	(仮称)長崎市南部学校給食センター整備運営事業に係る契約の一部変更について	11・25	教育厚生	12・12	原案可決
第222号	令和7年度長崎市一般会計補正予算 (第5号)	12・12	総務	12・12	原案可決
第223号	令和7年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算(第2号)	12・12	環境経済	12・12	原案可決
第224号	令和7年度長崎市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	12・12	教育厚生	12・12	原案可決
第225号	令和7年度長崎市中央卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)	12・12	環境経済	12・12	原案可決

議案番号	件名	上程等月日	付託委員会	議決等月日	摘要
第226号	令和7年度長崎市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	12・12	教育厚生	12・12	原案可決
第227号	令和7年度長崎市診療所事業特別会計補正予算(第1号)	12・12	教育厚生	12・12	原案可決
第228号	令和7年度長崎市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	12・12	教育厚生	12・12	原案可決
第229号	令和7年度長崎市水道事業会計補正予算(第2号)	12・12	建設水道	12・12	原案可決
第230号	令和7年度長崎市下水道事業会計補正予算(第2号)	12・12	建設水道	12・12	原案可決
第231号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	12・12	総務	12・12	原案可決
第28号報告	専決処分について(長崎市手数料条例の一部を改正する条例)	12・12	一審議	12・12	承認
第29号報告	専決処分の報告について(法律上市の義務に属する損害賠償の額の決定及び和解について(2件))	12・12	一審議	12・12	報告済
第30号報告	専決処分の報告について(市営住宅の明渡しに係る訴えの提起及び訴訟物の価額が300万円以下の訴えの提起について(3件))	12・12	一審議	12・12	報告済
第31号報告	専決処分の報告について(市営住宅の家賃の支払いに係る和解及び目的物の価額が300万円以下の和解について(4件))	12・12	一審議	12・12	報告済
第32号報告	専決処分の報告について(工事の請負契約の契約の金額の変更について(2件))	12・12	一審議	12・12	報告済

請願

受理番号	件名	上程月日	付託委員会	議決月日	結果
請願第1号	長崎市営松山陸上競技場の歴史的・文化的価値についての調査等に関する請願について	2・28	教育厚生	3・13	不採択
請願第2号	物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願について	12・3	総務	12・12	不採択

請願 第3号	物価高騰から営業とくらしを守る消費税減税を 求める請願について	12・3	総務	12・12	不採択
-----------	------------------------------------	------	----	-------	-----

陳情

受理番号	件名	受理月日	所管委員会	審査月日
陳情 第1号	工場正面前カーブミラー設置に関する陳情について	1・17		
陳情 第2号	長崎奉行所西役所等遺跡群の調査・保存・活用・公開・整備に関する陳情、養生所/(長崎)医学校等遺跡の保存・保護・整備・公開に関する陳情及び長崎核爆弾被爆遺跡の発見・調査・保存・公開・活用に関する陳情について	2・19		
陳情 第3号	スケートボードパーク設置に関する陳情について	4・23	総務	6・19
陳情 第4号	被爆80周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に関する陳情について	6・6	教育厚生	6・18
陳情 第5号	建築部住宅政策室職員の不適切な対応に関する陳情について	6・9		
陳情 第6号	長崎市における戦略的デジタル化と大胆な人員最適化による財政健全化と市民サービス向上に関する陳情について	6・9	総務	6・19
陳情 第7号	長崎奉行所西役所等遺跡群の調査・保存・活用・公開・整備に関する陳情、養生所/(長崎)医学校等遺跡の保存・保護・整備・公開に関する陳情及び長崎核爆弾被爆遺跡の発見・調査・保存・公開・活用に関する陳情について	6・9		
陳情 第8号	公共施設内での労組加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情について	8・25		
陳情 第9号	一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会(NITCA)と長崎市の関係性におけるガバナンスおよび運営構造に関する問題点の指摘と改善を求める陳情について	9・5	環境経済	9・18

受理番号	件名	受理月日	所管委員会	審査月日
陳情 第10号	龜山社中記念館の入館料改定に関する陳情について	9・5	環境経済	9・19
陳情 第11号	長崎奉行所西役所等遺跡群の調査・保存・活用・公開・整備に関する陳情、養生所/(長崎)医学校等遺跡の保存・保護・整備・公開に関する陳情及び長崎核爆弾被爆遺跡の発見・調査・保存・公開・活用に関する陳情について	9・5		
陳情 第12号	「NITCAと長崎市の関係性是正」に関する貴議会からの回答への見解と再質問に関する陳情について	11・4		
陳情 第13号	長崎奉行所西役所等遺跡群の調査・保存・活用・公開・整備に関する陳情、養生所/(長崎)医学校等遺跡の保存・保護・整備・公開に関する陳情及び長崎核爆弾被爆遺跡の発見・調査・保存・公開・活用に関する陳情について	11・25		
陳情 第14号	個人の土地を市が長期に渡り不当使用の件につき早急に解決を望む陳情について	11・25	建設水道	12・5

3 委員会の月別開催状況

区分 委員会名	R7年(回)			月別開催状況(回)												会議時間 (時間:分)	
	計	開 会 中	閉 会 中	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
合計	133	96	37	10 (6)	7 (1)	26 (0)	3 (3)	3 (3)	18 (1)	4 (4)	4 (4)	22 (0)	11 (11)	4 (4)	21 (0)	346:18	
常任委員会	85	73	12	4 (0)	4 (0)	22 (0)			12 (0)	4 (4)		15 (0)	8 (8)	0 (0)	16 (0)	303:29	
〔内訳〕	総務	23	20	3	1 (0)	1 (0)	6 (0)			4 (0)	1 (1)		4 (0)	2 (2)		4 (0)	99:24
	教育厚生	21	18	3	1 (0)	1 (0)	6 (0)			2 (0)	1 (1)		4 (0)	2 (2)		4 (0)	79:51
	環境経済	19	16	3	1 (0)	1 (0)	5 (0)			3 (0)	1 (1)		3 (0)	2 (2)		3 (0)	48:48
	建設水道	22	19	3	1 (0)	1 (0)	5 (0)			3 (0)	1 (1)		4 (0)	2 (2)		5 (0)	75:26
議会運営委員会	18	11	7	3 (3)	3 (1)	1 (0)			3 (1)		1 (1)	4 (0)			1 (1)	2 (0)	10:16
特別委員会	30	12	18	3 (3)		3 (0)	3 (3)	3 (3)	3 (0)		3 (3)	3 (0)	3 (3)	3 (3)	3 (0)		32:33
〔内訳〕	防災対策 (令和6年設置)	1	0	1	1 (1)												0:10
	部活動のあり方検討 (令和6年設置)	1	0	1	1 (1)												0:13
	地域公共交通対策 (令和6年設置)	1	0	1	1 (1)												0:11
	旧合併町活性化 (令和7年設置)	9	4	5			1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (0)		1 (1)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	13:58
	官民連携在り方検討 (令和7年設置)	9	4	5			1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (0)		1 (1)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	8:30
長崎港活性化対策 (令和7年設置)	9	4	5			1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (0)		1 (1)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	9:31	

()は閉会中の開催数を内書き
会議時間については、現地調査の時間は含めていない。

区分 会議名	R7年(回)			月別開催状況(回)												会議時間 (時間:分)	
	計	開 会 中	閉 会 中	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
各派代表者会議	4	0	4				1 (1)		1 (1)		1 (1)	1 (1)					0:49
世話人会	8	3	5	1 (1)	2 (1)				2 (1)		1 (1)	1 (0)			1 (1)		0:55
全員協議会	1	1	0		1 (0)												0:13

()は閉会中の開催数を内書き

4 委員会等の審査状況

(単位：件)

区分 委員会名	合計	審査案件													報告	調査	陳情	
		小計	条例	予算	人事	決算	契約	財産の取得処分	その他	諮問	意見書	決議	附帯決議	請願				
合計	272	223	107	45		14	28	8	18					3	8	35	6	
常任委員会	238	223	107	45		14	28	8	18					3	4	5	6	
〔内訳〕	総務	67	63	42	2	1	4	4	8					2	1	1	2	
	教育厚生	64	61	19	16	6	12	2	5					1	1	1	1	
	環境経済	47	42	26	7	2	4	2	1						1	2	2	
	建設水道	52	49	20	13	4	8		4						1	1	1	
	分割付託	8	8		7	1												
	議会運営委員会	1														1		
特別委員会	33														3	30		
〔内訳〕	防災対策	2													1	1		
	部活動のあり方検討	2													1	1		
	地域公共交通対策	2													1	1		
	旧合併町活性化対策	9														9		
	官民連携在り方検討	9														9		
	長崎港活性化対策	9														9		

※継続審査となった議案については、複数回審査を行った場合も1件とする。

5 委員会の行政視察状況

常任委員会行政視察

委員会・調査目的	派遣委員	期間	調査都市（調査先）・主な項目
総務委員会 行財政の効率的運営及び重要施策の推進について	柿田 正、岩永 敏博 梅本けいすけ、梅元 建治 久 八寸志	4月16日 ～18日	相模原市：さがみはらみんなのシビックプライド向上計画など 富士市：シティプロモーションの取組など
	都留かすみ、井上 重久 武次 良治、中西 敦信 山口たかゆき	4月16日 ～18日	四市複合事務組合：しおかぜホール茜浜 習志野市：シティセールス推進事業 金沢市：金沢文化スポーツコミッションなど
教育厚生委員会 民生福祉、保健行政及び教育行政の充実について	山谷よしひろ、池田 章子 五輪 清隆、森きょうへい 山口まさよし	4月22日 ～24日	旭川市：いじめ防止対策「旭川モデル」など 札幌市：公立夜間中学校など
	山下 巖記、永尾 春文 林 広文、吉原 孝	4月23日 ～25日	足立区：子どもの貧困対策など さいたま市：保育所等におけるこども誰でも通園制度試行的事業 松戸市：子育てプロモーション事業など
環境経済委員会 環境行政の充実及び地域産業の活性化について	平 たけし、阿部のぞみ 竹田 雄亮、平野 剛 山崎 猛	5月12日 ～14日	八戸市：観光施策 三浦市：海の駅「うらり」など
	中山 大、木森 俊也 筒井 正興、野口 達也 向山 宗子	4月22日 ～24日	函館市：観光客誘致の取組など 青森市：浪岡地域力活性化事業など
建設水道委員会 都市基盤及び住環境の整備のさらなる充実について	山本 信幸、大石ふみき 高橋 佳子、福澤 照充 毎熊 政直	5月7日 ～9日	神戸市：神戸ウォーターフロントビジョンなど 広島市：Park-PFIによる公園の再整備など
	澤勢みずき、相川 和彦 浅田 真五、梅原 和喜	5月12日 ～14日	柏の葉7-10デザインセンター：柏の葉スマートシティ 千葉市：Park-PFIによる千葉公園の整備 守谷市：上下水道施設管理等包括業務委託

議会運営委員会行政視察

委員会・調査目的	派遣委員	期間	調査都市（調査先）・主な項目
議会運営委員会 議会運営について	梅元 建治、中山 大 井上 重久、相川 和彦 森きょうへい、久 八寸志 岩永 敏博、山口まさよし	7月28日 ～30日	益田市：議会活性化の取組状況 東広島市："

特別委員会行政視察

委員会・調査目的	派遣委員	期間	調査都市（調査先）・主な項目
旧合併町活性化対策特別委員会	木森 俊也、池田 章子 梅本けいすけ、大石ふみき 野口 達也	7月28日 ～30日	鳥取市：地域振興未来会議 福山市：地域の拠点づくり戦略など
	旧合併町活性化対策について	浅田 真五、柿田 正 平 たけし、都留かすみ 永尾 春文	7月14日 ～16日
官民連携在り方検討特別委員会	竹田 雄亮、高橋 佳子 毎熊 政直、山崎 猛 吉原 孝	7月29日 ～31日	横須賀市：長井海の手公園（ソレイユの丘）など 札幌市：札幌市官民連携窓口「SAPPORO CO-CREATION GATE」など
	官民連携在り方検討について	山口たかゆき、五輪 清隆 林 広文、向山 宗子	7月28日 ～30日
長崎港活性化対策特別委員会	阿部のぞみ、澤勢みずき 中西 敦信、平野 剛 山下 巖記	7月14日 ～16日	北九州市：北九州港における人流・にぎわい創出施策及びカーボンニュートラル施策 静岡市：清水港におけるクルーズ船受け入れ施策
	長崎港活性化対策について	福澤 照充、梅原 和喜 筒井 正興、山谷よしひろ 山本 信幸	7月23日 ～25日

6 他都市からの行政視察受入状況(令和8年2月中旬現在)

令和7年度行政視察受入実績

延べ団体数及び人数

延94団体 728人(議員 616人、理事者 35人、随員 77人)
(受入れ実施期間: 令和7年4月16日~令和8年2月3日)

[参考]

R6年度: 延85団体 736人

R5年度: 延91団体 683人

都道府県別件数

都道府県名	受入団体数	内中核市数	都道府県名	受入団体数	内中核市数	都道府県名	受入団体数	内中核市数
北海道	3	(0)	東海	11	(3)	九州	13	(2)
東北	8	(3)	静岡	4	(0)	福岡	3	(0)
青森	2	(1)	愛知	4	(3)	佐賀	1	(0)
岩手	1	(0)	三重	3	(0)	長崎	0	(0)
宮城	2	(0)	岐阜	0	(0)	熊本	2	(0)
秋田	0	(0)	近畿	9	(2)	大分	3	(1)
山形	1	(0)	大阪	3	(0)	宮崎	0	(0)
福島	2	(2)	京都	1	(0)	鹿児島	2	(1)
北信越	5	(2)	滋賀	0	(0)	沖縄	2	(0)
新潟	1	(0)	兵庫	4	(2)	その他	1	
富山	1	(0)	奈良	1	(0)	合計	94	(21)
石川	2	(1)	和歌山	0	(0)			
福井	0	(0)	中国	4	(1)			
長野	1	(1)	鳥取	1	(1)			
関東	38	(6)	島根	0	(0)			
東京	10	(1)	岡山	0	(0)			
神奈川	8	(0)	広島	3	(1)			
山梨	3	(2)	山口	0	(0)			
茨城	5	(0)	四国	2	(2)			
栃木	3	(0)	徳島	0	(0)			
群馬	1	(1)	香川	0	(0)			
埼玉	4	(1)	愛媛	2	(2)			
千葉	4	(1)	高知	0	(0)			

その他は外国からの訪問

種類別視察都市数

中核市	21	22.3%
特定第三種漁港	1	1.1%
施行時特例市	7	7.4%
政令指定都市	11	11.7%
その他の都市	49	52.1%
都道府県	3	3.2%
議長会・一部事務組合議会	2	2.1%
合計	94	100.0%

調査事項ランキング

順位	調査事項	所管部局等	件数
1	長崎スタジアムシティプロジェクト	企画政策部	15
2	観光行政	文化観光部	15
3	平和行政・平和教育	原爆被爆対策部 教育委員会	13
4	まちぶらプロジェクト	まちづくり部	11
5	長崎駅周辺再整備事業	まちづくり部	8

海外行政視察報告

令和7年度海外行政視察の報告について

令和7年度に海外行政視察を行った議員より報告書の提出がありましたので、報告いたします。

〔令和7年度海外行政視察一覧〕

期間	視察・訪問都市	件名	視察議員	掲載頁
8月21日 ～8月26日 【6日間】	〔アメリカ〕 セントポール市	セントポール市姉妹 都市提携70周年記念 訪問団	相川 和彦、井上 重久 向山 宗子	36
9月30日 ～10月3日 【4日間】	〔台湾〕 台北市	夜景サミット 2025in 台湾	木森 俊也、毎熊 政直	60
11月10日 ～11月14日 【5日間】	〔中国〕 福州市、上海市	福州市友好都市提携 45周年記念訪問団	五輪 清隆、梅原 和喜 木森 俊也、林 広文 福澤 照充	67

セントポール市姉妹都市提携 70 周年記念訪問団報告書

長崎市議会議員 相川 和彦
長崎市議会議員 井上 重久
長崎市議会議員 向山 宗子

1 訪問の目的

日米初の都市間提携であるアメリカ・セントポール市と姉妹都市提携 70 周年を迎えることから、長崎市からセントポール市へ公式訪問団を派遣し、記念行事などに出席することで、今後の関係強化を図り、交流促進につなげる。

以下、その概要についてご報告いたします。

2 訪問期間 令和7年8月21日（木）～8月26日（火）（4泊6日）

3 訪問都市 アメリカ合衆国ミネソタ州セントポール市

4 セントポール市での記念行事

- (1) ロータリークラブ・姉妹都市委員会主催歓迎夕食会
- (2) セントポール市役所表敬訪問
- (3) 市内視察バスツアー（州議事堂、セントポール大聖堂、地球星座）
- (4) セントポール・セインツゲーム観戦
- (5) 平和イベント「破壊から友情へ：セントポール・長崎姉妹都市関係」
- (6) ナショナル・スポーツ・センター（NSC）視察
- (7) コモ公園内視察及び公式夕食会
- (8) ミネソタステートフェア
- (9) 送別会

5 日程

日本時間		現地時間		用務等	用務地等
8/21 (木)	11:45			ANA664 長崎空港 発	
	13:30			羽田空港 着	
	16:20			DL120 羽田空港 発	
8/22 (金)	4:00	8/21 (木)	14:00	ミネアポリス・セントポール国際空港 着	セント ポール
	5:00		15:00	ミネアポリス・セントポール国際空港 発(専用車)	
	5:20		15:20	ホテル 着	
	6:45		16:45	ホテル 発(個人の車)	
	7:00～		17:00～	セントポールロータリークラブ・セントポール・長崎姉妹都市委員会主催歓迎夕食会 【会場】ロータリークラブ会員の個人宅(サミットアヴェニュー)	
	23:30～	8/22 (金)	9:30～	セントポール市役所表敬訪問	セント ポール
	0:30		10:30	【会場】セントポール市庁舎	
8/23 (土)	0:30～	8/22 (金)	10:30～	市内視察バスツアー(州議事堂、セントポール大聖堂、地球星座)	セント ポール
	6:30		16:30		
	8:00～		18:00～	セントポール・セインツゲーム観戦	
	12:00		22:00	【会場】CHS フィールド	
8/24 (日)	0:00～	8/23 (土)	10:00～	平和イベント「破壊から友情へ:セントポール・長崎姉妹都市関係」 (鈴木市長講演、子どもゆめ体験参加者による被爆紙芝居披露、 原爆パネル展、キッズゲルニカ完成品展示) 【会場】ミネソタヒストリーセンター	セント ポール
	2:00		12:00		
	4:00～		14:00～	自由時間(ナショナルスポーツセンターほか)	
	6:00		16:00		
	7:00～		17:00～	日本庭園視察	
	8:30		18:30	【会場】コモ公園	
	8:30～		18:30～	公式夕食会	
	11:00		21:00	【会場】コモ公園	
8/25 (月)	0:00～	8/24 (日)	10:00～	ミネソタステートフェア	セント ポール
	6:00		16:00	【会場】ファルコンハイツ	
	8:00～	8/25 (月)	18:00～	送別会	機内泊
	9:30		19:30	【会場】ロータリークラブ会員の方のマンション	
	21:45		7:45	ホテル 発(専用車)	
	22:15		8:15	ミネアポリス・セントポール国際空港 着	
8/26 (火)	0:15		10:15	DL121 ミネアポリス・セントポール国際空港 発	
	13:15			羽田空港 着	東京

1 セントポール市の概要

セントポール市は、アメリカ合衆国ミネソタ州の州都であり、製造、通信、金融、保険、観光、農業等が盛んな都市で、人口は約 30 万人の都市である。隣接するミネアポリス市とは、ミシシッピ川をはさんで双生児のように発達したことから「双子都市（ツインシティ）」と呼ばれている。

古くから「偉大な北西部」開拓の起点として栄え、流れ豊かなミシシッピ川に育まれた肥沃な大地から農産物の一大集散地として、また交通の要所として発展してきたが、現在はコンピューターや科学機器に代表されるハイテク産業に経済の中心が移っており、世界的に有名な企業の本社をはじめ多くの企業・会社がある。

また、15,000 に及ぶ数多くの湖と川、緑豊かな町で、気候は大陸的気候で雨量は少なく、日本よりも北に位置することから、平均気温は日本よりも低く、寒暑の差は大きい。（時差は日本が 14 時間進んでいる）

スヌーピーの生みの親であるチャールズ・M・シュルツはミネソタ生まれのセントポール育ちであることから、マンガ「ピーナッツ（Peanuts）」に登場するキャラクターの像が、市内各所にある。



2 姉妹都市提携の経緯

両市の姉妹都市提携を提案したのは、セントポール市のルイス・W・ヒル・ジュニア氏で、同氏は、1893 年に北米の大陸横断鉄道「グレート・ノーザン鉄道」を敷設した祖父が経営する汽船会社の長崎航路に乗り、長崎を数回訪れていた。訪問の際に、長崎の美しい自然や親切な人々に魅了されていたが、原爆により破壊された無残な長崎の姿を悲しみ、「市民同士の友情が深まれば、争いのない、平和な世界を築くことができるだろう」との強い信念により、両市の姉妹都市提携の働きかけを行った。

同氏の働きかけもあり、ニューヨークの日本国連協会代表ウィリアム G. ヒューズ氏が、原爆被災から復興して平和都市への道を歩んでいた長崎市とセントポール市の提携を斡旋し、その後、国連事務局が両市に勧誘状を出し、日本初の姉妹都市提携が実現した。

3 セントポール市での主な行事内容

(1) ロータリークラブ・姉妹都市委員会主催歓迎夕食会（8月21日（木））

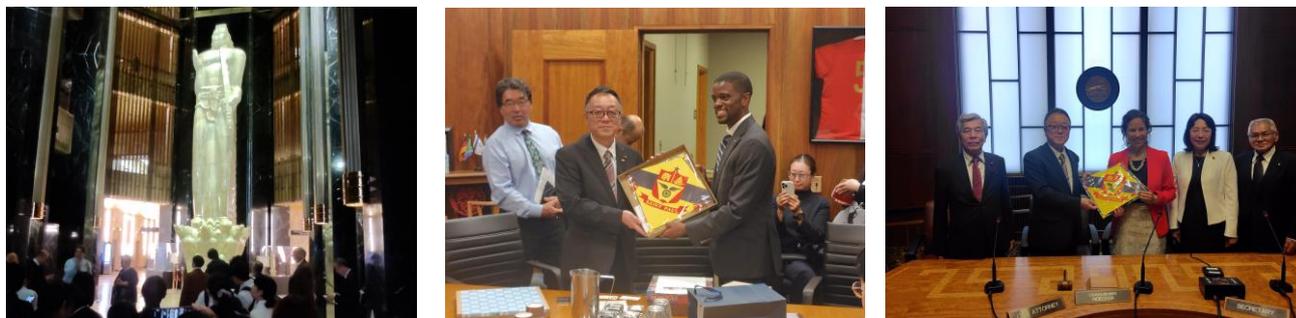
サミットアヴェニューにあるロータリークラブ会員の方の個人宅において、ロータリークラブ・姉妹都市委員会主催による歓迎夕食会が行われた。セントポール市側が姉妹都市委員会やロータリークラブなど 30～40 人、長崎市側が市公式訪問団 9 人と長崎ロータリークラブ 3 人が参加した。セントポール市側から歓迎の和太鼓が披露され、力強い響きが会場を包み込み、日本文化が受け入れられて尊重されていると感じた。



(2) セントポール市役所表敬訪問（8月22日（金））

セントポール市役所を訪問し、メルヴィン・カーター市長及びレベッカ・ノッカー市議会議長を表敬訪問した。記念品として、岩永議長からカーター市長とノッカー市議会議長にセントポール市の市旗がデザインされたハタを贈呈した。

なお、セントポール市庁舎には、2012年セントポール・長崎両ロータリークラブから長崎市に寄贈された「平和のビジョン」像（長崎市平野町に設置）の原像が設置されていた。



(3) 市内視察バスツアー（州議事堂、セントポール大聖堂、地球星座）（8月22日（金））

セントポール市姉妹都市交流にゆかりの深い場所である州議事堂、セントポール大聖堂、地球星座を視察した。

ア 州議事堂

アメリカを代表する建築家キャス・ギルバートがバチカン市立国にあるサン・ピエトロ大聖堂をモデルに設計した。1896年に竣工し、1905年に完成したルネッサンス調の建物である。総工費は当時で450万ドル（現在のレートでは2億ドル相当）の費用を要している。最上部には支柱なしの大理石のドームを有し、州議事堂以外では世界でも数えるほどしか存在しない。最初の議事堂は1881年に火災で焼失し、2番目

の議事堂は 1883 年完成したが、手狭となったために建て替えられることとなり、現在の議事堂は 3 番目である。1972 年に国指定歴史的史跡に登録された。なお、結婚式やコンサートでも使用することができる。



イ セントポール大聖堂

1915 年にアイルランドのジョン大司教が、セントポールの人々のための記念建造物として、バチカンのサン・ピエトロ寺院を模して建築した。1906 年に建築が始まり、1915 年に完成したボザール建築様式の巨大な教会である。アメリカ国内で 4 番目に大きい聖堂であり、1974 年に国指定歴史的史跡に登録された。



ウ 地球星座

ポール・グランランド氏が制作し、1984年にセントポールにあるセントトーマス大学に設置された。第50代セントポール市長のジェームズ・シャイベル市長が、1990年8月に「長崎旅博覧会」に参加のため来崎した際に、「世界平和シンボルゾーン」建設計画の趣旨に賛同し、企業や市民から募金を集め、両市の友好の証として平和公園に寄贈した。



(4) セントポール・セインツゲーム観戦（8月22日（金））

セントポール・セインツは、1993年創設のセントポールを本拠地とするマイナーリーグのプロ野球チームで、2021年からメジャーリーグのミネソタ・ツインズ傘下のAAA（トリプルA）のチームである。本拠地であるCHSフィールドは、2015年5月にオープンした球場である。

セントポール・セインツ対ラウンドロック・エクスプレス（テキサス・レンジャーズ傘下のAAA）の公式戦に招待され、市長及び議長がセントポール市のカーター市長とともに始球式を行った。その後の試合観戦を通じ、アメリカの野球文化に触れることができ、セントポール・セインツは徹底したファンサービスを行う地域密着型のチームで、地元ファンは非常に多く、熱狂的であった。

試合開始前には、セントポール・セインツの国際開発ディレクター増渕聖剛氏に球場内を案内していただき、球場内の設備などについて説明を受けた。



(5) 平和イベント「破壊から友情へ：セントポール・長崎姉妹都市関係」（8月23日（土））

ミネソタ歴史協会の本部でもあるミネソタヒストリーセンターにおいて、平和に関するイベントが開催された。

- ・ミネソタヒストリーセンター歓迎挨拶（シニアディレクター キミー・タナカ）
- ・セントポール・長崎姉妹都市委員会歓迎挨拶（ジョアン・ブラッチリー会長）
- ・鈴木市長講演

鈴木市長が「長崎市の次世代継承に向けた取組みー被爆者の思いを未来につなぐためにー」をテーマに、被爆の実相や世界恒久平和の実現に向けた取組みなどについての講演を行った。

- ・子どもゆめ体験参加者による被爆紙芝居

子どもゆめ体験に参加した長崎市内の中学生 16 人が、被爆者による被爆体験記を紙芝居にして披露した。

- ・平和祈念式典に招待した姉妹都市高校生 2 人による長崎訪問の報告

8月9日の平和祈念式典に、毎年姉妹都市の高校生（大学生）のうち、「平和活動に取り組んだ経験がある方」「平和活動に興味があり、今後取り組む意欲がある方」等を招待する事業を行っている。今年度はセントポール市から高校生 2 人と引率の先生 1 人を招聘した。長崎市に滞在中、平和祈念式典のほかにもピースフォーラムなどに参加しており、その活動内容の報告を行った。

- ・原爆パネル展及びキッズゲルニカの完成品の展示・レセプション



(6) ナショナル・スポーツ・センター（NSC）視察（8月23日（土））

ナショナル・スポーツ・センター（NSC）は、600 エーカー（約 243 万㎡）を超える広大なスポーツ・イベント施設を要し、様々なプログラムとサービスにより、年間を通して卓越したスポーツ体験を提供している。広大な敷地内には、サッカー場やゴルフ場、アイスホッケーのリンクなどが多数あり、多くの大会やイベントが開催されており、年間 410 万人が来場している。セントポール・セインツの国際開発ディレクター増渕聖剛氏の案内により施設内の視察を行った。アメリカの 4 大プロスポーツは、アメリカンフットボール、野球、バスケットボール、アイスホッケーだが、ナショナル・スポーツ・センターの視察を通じて、近年はサッカーの人気も高まっていることを実感した。



(7) コモ公園内視察及び公式夕食会（8月23日（土））

コモ公園は、307ヘクタールという広大な土地にゴルフ場、キャンプ場、動物園や有名な温室の植物園（マジョーリー・マクニーリー温室）などがある。来場者数は年間190万人ほどで、1915年11月7日にマジョーリー・マクニーリー温室がオープンしてから今年で110周年を迎えている。公園内には日本庭園、茶室、長崎市民から送られた桜の木、ラビリンスがあり、ラビリンスでは8月9日に黙祷も捧げられているとのことだった。なお、日本庭園は、長崎市の樹木医の松田正美氏の指導のもと設計・建築を行い、1979年9月に開設した。

視察後、コモ公園内の施設において公式夕食会が開催された。夕食会には、セントポール市側は、セントポール市の関係者、姉妹都市委員会、ロータリークラブ、在シカゴ総領事館首席領事及び在ミネソタ日本名誉領事などが参加し、長崎市側は公式訪問団のほか、長崎ロータリークラブ、子どもゆめ体験の引率が参加した。岩永議長が、姉妹都市委員会のジェシカ・ベムロット共同会長とともに乾杯の発声を行った。



(8) ミネソタステートフェア (8月24日 (日))

ミネソタ州創設の翌年の1859年に始まった州の農業をメインとしたお祭りで、毎年8月下旬に12日間開催される。今年は8月21日から9月1日まで開催された。セントポールとミネアポリスの中間地点にあるファルコンハイツが会場となっており、期間中は様々な展示やショーなどが一日中開催される。また、たくさんの食べ物の出店があり、食のお祭りでもある。昨年はフェア期間中に192万人が参加した。

今回、フロート (フェスティバルの車) に乗ってパレードにも参加し、会場内は大盛況であった。



(9) 送別会 (8月24日 (日))

最終日の夜は、ロータリークラブ会員のマンションにおいて送別会が開催された。送別会には、元セントポール市長で、現在ハムリン大学教授のジェームズ・シャイベル氏も参加した。シャイベル氏は、第50代セントポール市長(1990年～1993年)時に、長崎市の平和公園における「世界平和シンボルゾーン」建設の趣旨に賛同し、セントポール市長として平和モニュメント「地球星座」の寄贈に尽力された。その功績により、平成27年に「長崎市国際親善平和栄誉証」を授与された。



※出発式は長崎空港控室、解散式は羽田空港到着ロビーにてそれぞれ行われた。

セントポール市姉妹都市提携 70 周年記念公式訪問団

長崎市議会議員 相川和彦

この度、長崎市とセントポール市の姉妹都市提携 70 周年という記念すべき節目に訪問団の一員として参加させていただき、貴重な経験をすることができた。滞在期間中に、両市の深い絆と、70 年という長きにわたって培われてきた友好関係の重みを実感した。

セントポール市で参加した行事の概要は次のとおり。

8月21日(木)

○ロータリークラブ・姉妹都市委員会主催の歓迎夕食会

訪問初日の歓迎夕食会では、ロータリークラブと姉妹都市委員会の皆様から温かいおもてなしを受け、胸が熱くなった。言葉や文化の違いを超えて、互いを尊重し合う姿勢に、姉妹都市交流の本質を見た思いがした。地元の方々による和太鼓の演奏も行われ、長崎市との深いつながりが文化の面でも確かに根付いていることを象徴していた。異国の地で聞く和太鼓の演奏は非常に素晴らしく感動した。



8月22日（金）

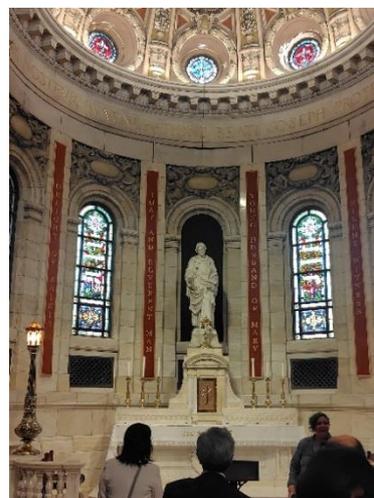
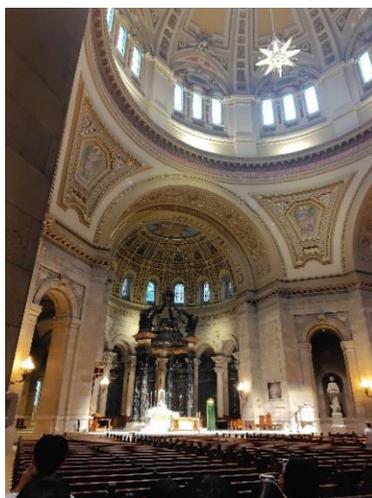
○セントポール市役所表敬訪問

セントポール市役所では、カーター市長及びノッカー議長を表敬訪問することができ、両市のさらなる交流発展などについて有意義な意見交換ができた。両市が平和、文化、教育など多方面で協力してきた歩みが、確かな信頼関係として根付いていることを実感した。また、若い世代への交流の継承と、平和活動を維持することの大切さについて改めて認識した。



○州議事堂・セントポール大聖堂

州議事堂の荘厳な建築、セントポール大聖堂の美しさは、ミネソタの歴史と文化の深さを物語っていた。特にセントポール大聖堂では、平和への祈りという点で長崎と共通する思いを感じ、改めて姉妹都市の絆の意義を考えさせられた。



○セントポール・セインツゲーム観戦

セントポール・セインツの試合観戦は、アメリカの地域に根ざしたスポーツ文化を肌で感じる機会となった。球場全体が一体となって応援する姿を見て、ベースボールを愛する市民が多いことを実感した。日本の野球観戦とはまた違った雰囲気の中で、プレーのひとつひとつに非常に迫力があり、ベースボールを楽しむことができた。



8月23日(土)

○平和イベント「破壊から友情へ：セントポール・長崎姉妹都市関係」

平和イベントでの鈴木市長の講演と、子どもゆめ体験に参加した長崎市内の中学生による被爆に関する紙芝居は、特に心に残るものだった。被爆都市である長崎の平和への思いと、セントポール市の平和への取り組みが重なり合い、両市が共有する価値観の深さを再認識した。平和の実現に向けて、姉妹都市として協力できることの意義を強く感じた。



○ナショナル・スポーツ・センター視察

ナショナル・スポーツ・センターは、広大な敷地内にサッカー場、ゴルフ場、アイスホッケーのリンクが多数あり、多くのイベントや大会が開催されるなど、アメリカのスポーツ熱の高さをうかがうことができた。



○コモ公園視察及び公式夕食会

コモ公園の視察では、公園内にある日本庭園の美しさに感動した。また、公式夕食会では、70年の交流を支えてきた多くの方々との出会いがあり、市民レベルでの交流の積み重ねが、この関係を支えてきたことを実感した。



8月23日(土)

○ミネソタステートフェア

ミネソタステートフェアでは、アメリカ中西部の農業文化と地域の伝統を体験することができ、セントポール市の多様な魅力を知ることができた。フロートに乗車してから会場を見渡してみると、家族連れや若者、高齢者まで幅広い世代が思い思いにフェアを楽しんでおり、会場全体を包むエネルギーとスケールの大きさに圧倒された。広大な敷地に多彩なブースやアトラクションが立ち並び、ミネソタの一大イベントであることを肌で感じた。



70周年という節目を迎えた姉妹都市関係は、多くの先人たちの努力と情熱によって築かれてきたものである。今回の訪問を通じて、この関係をさらに深め、次世代へと継承していく責任を強く感じた。

長崎市とセントポール市、太平洋を挟んだ二つの都市が、平和と友好の架け橋として、これからも手を取り合って歩んでいくことが大切である。このような貴重な機会をいただいたことに、心から感謝申し上げる。

姉妹都市提携 70 周年記念セントポール市公式訪問報告

長崎市議会議員 井上重久

8 月 21 日出発、セントポール市の概要、目的、姉妹都市提携の経緯等

長崎市公式訪問団（9名）は、8月21日（木）から26日（火）まで、機内2泊、ホテル4泊の日程で米国ミネソタ州セントポール市を訪問した。8月21日16時20分羽田空港発、セントポール空港には現地時間14時前後に空港に到着（日本との時間差は14時間遅れている）、18時にホテルを出発してセントポール・長崎市姉妹都市委員会主催による個人宅での夕食交流会に招かれ、和太鼓のおもてなしを受けた。

セントポール市の概要は、製造、通信、金融、保険、観光、農業等が盛んな都市で、隣接するミネアポリス市とは、ミシシッピをはさんで双生児のように発達したことから「双子都市（ツインシティ）」と呼ばれている。15,000に及ぶ数多くの湖と川、緑豊かな町で、気候は大陸的気候で雨量が少なく、寒暑の差は大きいと紹介されていた。



公式訪問の概要は、日米初の都市間提携であるセントポール市と姉妹都市提携70周年を迎えることから、訪問団を派遣し記念行事などに出席、今後の関係強化を図り交流促進に繋げるとしている。主な行事は、ロータリークラブ・姉妹都市委員会主催歓迎夕食会、セントポール市長表敬訪問などとなっている。姉妹都市提携の経緯は、ニューヨークの日本国連協会代表が、原爆被災から復興し平和都市への道を歩んでいた長崎市とセントポール市の提携を斡旋。

その後、国連事務局が両市に勧誘状を出し、日本初の姉妹都市提携となっている。昭和30年（1955年）12月7日提携、セントポール市面積145K㎡、人口約30万人。長崎市は面積405.8k㎡、人口約38万人。

今回の公式訪問団の他に、長崎市内在住中学生16人他4人が参加する「子どもゆめ体験」、長崎ロータリークラブ13人が参加した。ちなみに、長崎市の姉妹都市は、セントポール市（アメリカ）、サントス市（ブラジル）、ポルト市（ポルトガル）、福州市（中国）、ヴォスロール市（フランス）、ライデン市（オランダ）と提携している。

8月22日市長・議長表敬訪問、国指定歴史的史跡視察

8月22日(金)9時30分からメルヴィン・カーター市長、レベッカ・ノッカー市議会議長を表敬訪問し、意見交換を行った。長崎市の訪問団は、市公式訪問団9人、長崎ロータリークラブ4人、子ども夢体験20人と、姉妹都市委員会メンバーら合計すると38名前後が市長室の応接室で、交流の関係強化や平和活動に向けての意見交換、記念品の贈呈が行われた。



セントポール市庁舎には、2012年(平成24年)にセントポール・長崎両ロータリークラブから長崎市に寄贈された「平和のビジョン」像(長崎市平野町に設置)の原像を拝見した。また、午後からは三権分立(立法・行政・司法)の要であるミネソタ州議事堂を視察、アメリカを代表する建築家キャス・ギルバートがバチカン市立国にあるサン・ピエトロ大聖堂をモデルに設計した建物。1896年竣工、1905年に完成、支柱なしの大理石のドームを有する建物はこの議事堂以外に、世界でも数えるほどしかしかないという。1972年、議事堂は国指定歴史的史跡に登録された。

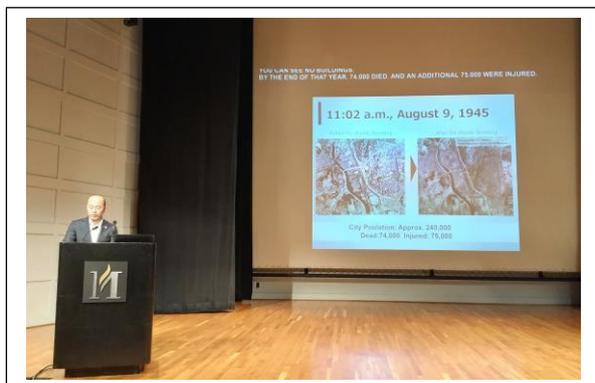
併せて、1915年にアイルランドのジョン大司教によって建設されたセントポール大聖堂、1906年に建築が始まり、1915年に完成、高さ53mの巨大なドーム、1974年国指定歴史的史跡に登録された。



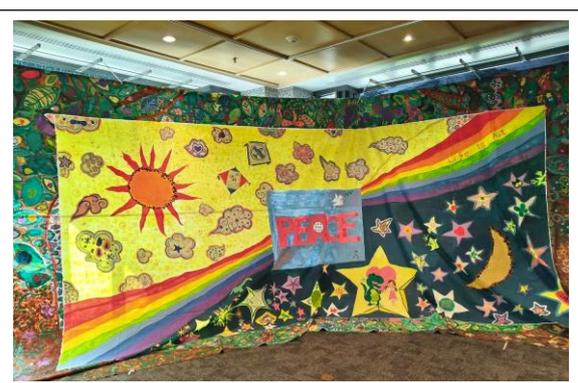
8月23日平和イベント、日本庭園視察、公式夕食会

8月23日午前10時からセントポール市のダウンタウンに建つ、ミネソタ歴史センター(ヒストリーセンター)において鈴木市長の講演、子どもゆめ体験被爆紙芝居披露、原爆ポスター展、キッズゲルニカ展示の平和イベントに参加した。鈴木市長の講

演概要は、80年前の広島・長崎の一発の原子爆弾投下は、非人道的なものであった。父母の被爆の状況、かろうじて生き残った被爆者の皆さんの肉体的な苦痛、差別や偏見などの精神的な苦痛を味わい、痛ましい体験を語り、核兵器のない世界の実現を訴え続けてきた。日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞した。被爆の実相を伝えるための準備、原爆資料館展示内容の見直し、平和を発信する人材育成、平和の文化の醸成についてなどの講話があった。



次に、田川博康さんの被爆体験記「あの日8月9日そして、これから」を紙芝居形式で、子ども夢体験者16人による英語スピーチがあった。被爆体験者は、当時、新興善国民学校の6年生、轟音とともに目の前がだいたい色に染まり、爆風とともに小さなガラス片や、ふすまや障子などが飛んできた。爆発の数時間後には黒い煙が上がり、黒い煙の中に太陽が見える異様さであった。浦上の消滅の話、両親を助けにいかねばの思い、交通機関の壊滅、自分の家族を助けるために必死で歩いた。怪我を負った父親を臨時救護所で治療してもらったが、3日後に息を引き取り、悲しいとか辛いという思いを感じる余裕さえなく、そして母親も数日後になくなった。原爆の放射線の影響からか、若い頃から身体のあちらこちらに異常が現れ、手術で入院を繰り返してきた、80年前の被爆実相が語られた。



8月23日午後からの日本庭園視察&コモ公園を視察した。ミネソタ州セントポール市のコモ公園は、307ヘクタールという広大な土地にゴルフ場、キャンプ場、動物園や有名な温室の植物園（マジョリー・マクニーリー温室）などがある。来場者数は年間190万人、1915年（大正4年）11月7日にマジョリー・マクニーリー温室がオープンしてから今年で110周年を迎えるという。公園内の日本庭園は、樹木医松田正美氏の指導の下、設計・建築をし、1979年（昭和54年）9月に開設され、

10年前の2015年には松田さんを偲ぶ松田記念碑の除幕が行われた。日本庭園は、セントポールの姉妹都市、長崎市と連携して開発され、毎年8月にはフェスティバルも開催されている。



8月23日(土)18時30分からコモ公園内にある施設においてセントポール市関係者、姉妹都市委員会、ロータリークラブ、在シカゴ総領事館主席領事、在ミネソタ日本名誉理事など出席して「公式夕食会」が開かれた。訪問団の参加者は、長崎市公式訪問団9人、長崎ロータリークラブ9人、子どもゆめ体験引率4人が参加して意見交流を図った。姉妹都市委員会の会長、鈴木市長より「長崎とセントポール市の姉妹都市70周年を祝い、友好と交流が今日まで引き継がれていること。原爆による実相を後世に繋ぎ核兵器の廃絶を願うなど」それぞれの立場から感謝とお礼の言葉が述べられた。夕食の料理はチキンがメインで、全て食べられず若干残してしまった。



8月24日ステートフェア、送別会

8月24日(日)9時ホテル発、ステートフェアの視察を行った。ステートフェアは、1859年から始まりミネアポリスから14km離れたファルコンハイツが会場となっている。現在は、食べ物中心のフェアであるが、トラクターやコンバインに乗り込んでの体験ができる。8月下旬から概ね10日間開催されるため、パレード行進に参加、広大な土地に人の群れ、フェア期間中に190万人が訪れるという。

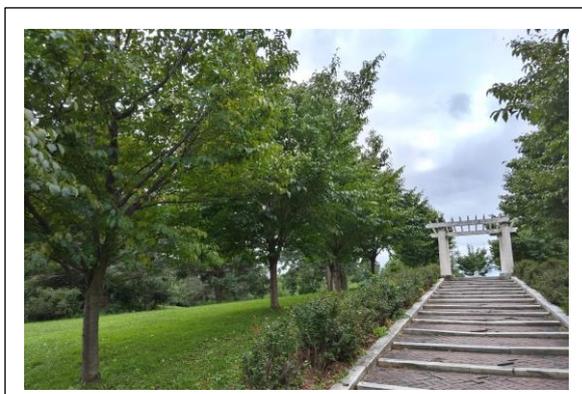
スリルを味わうなら、高さ15mのファイバーグラス製の滑り台、ジャイアントスライド、スカイタワーに登ればミネアポリスの市街地が見渡せる。何かに挑戦したいなら、賞をめざしてカーニバルゲームで腕試しが出来るとか。会場のいたるところ

ろに、無料のコンサートやショーのステージが設けられており、エンターテインメントが繰り広げられていた。また、500 以上ものさまざまな種類の食べ物が並び、ピッツァリト（ピッツァの具を巻いたブリトー）やメンフィスタコス（バナナの薄切りとピーナッツ・バター・ソースのテイタートッツ）などの屋台メニュー、甘い綿菓子や揚げたてのコーンドッグのような一般的な食べ物もあった。私たちも焼トウモロコシ・ワニ肉のソーセージを買って、ビアホールのエリアで地ビールを堪能した。



姉妹都市のおもてなしに感謝！

姉妹都市提携 70 周年を記念しての公式訪問の日程を終え、ロータリークラブ・姉妹都市委員会のメンバー、セントポール市役所関係者らの、おもてなしを強く感じた訪問となった。このおもてなしの背景は、原爆被災から復興し平和都市の道を歩んでいた長崎市とセントポール市が 1955 年(昭和 30 年)12 月 7 日、日本初めての姉妹都市提携が実現したことによるもの。1957 年長崎市から贈られた桜の苗木の記念植樹、1975 年セントポール・長崎両ロータリークラブが交換留学生を受入・派遣、共楽園社長松田正美氏(東長崎)コモ公園日本庭園整備協力、1992 年セントポール市が平和公園へ平和モニュメント地球星座を寄贈、1998 年(平成 10 年)コンサート交流等を通じてセントポール市シビック・シンフォニー一行などが来崎、1999 年長崎・セントポール姉妹都市委員会発足、民間団体の姉妹提携もあり交流が続いている。



70 年の交流を経て、公式訪問団日程の中で 8 月 21 日姉妹都市委員会主催による個人宅での夕食交流会、和太鼓のおもてなしに感激した。個人宅の庭園には長崎市の市花「あじさい」が植樹されていた。8 月 23 日平和イベント式典において交換留学生 2

名が平和式典やピースフォーラムなどに参加した感想を述べた。午後からは、公式日程には入っていないスポーツ施設の視察、その道中にある姉妹都市委員会メンバーの個人宅での昼食のおもてなし。そしてタイトな中で、スポーツ施設に移動、サッカー場 50 面、スケートリンク 4 面、バスケットボール施設、ゴルフ場施設などの規模にアット驚きながら、ゴルフ場にあるカートで移動視察した。8 月 24 日の送別会(軽い夕食)など、長崎と交流ある姉妹都市委員会のメンバーと交流が深められた。姉妹都市関係者の皆様、現地では「おもてなし」を賜り、大変お世話になりました。感謝！



セントポール市姉妹都市提携 70 周年記念訪問に参加して

長崎市議会議員 向山宗子

8月21日から26日の4泊6日、日本初の姉妹都市であるアメリカ合衆国ミネソタ州セントポール市との姉妹都市提携 70 周年を記念しての公式訪問団の一員として同地を訪れた。

セントポール市は、ミネソタ州の州都で、ミシシッピ川の源流が流れる、森緑の美しい街だった。

セントポール市役所もミシシッピ河畔にあり、その隣にある宿泊先から美しい概観を望むことが出来た。

滞在した4日間、様々な行事に参加させていただいた所感を申し上げる。



【 第1日目 】

○長崎市とセントポール市との姉妹都市を提案したルイス・w・ヒル・ジュニア氏の祖父でグレートノーザン鉄道を敷設したジェームス・J・ヒル氏の邸宅と並んであるサミットアベニューの個人宅で開催された、ロータリークラブ姉妹都市委員会主催の歓迎夕食会に参加。セントポール到着後、すぐの歓迎会でもあり、暖かい歓迎をいただく。和太鼓の演奏では、一生懸命練習をされたことが伺え、真心と敬意を感じた。



【 第2日目 】

○セントポール市役所にカーター市長・ノッカー市会議長を表敬訪問。

鈴木市長の祖父である田川務市長から続く交流の長さや意義を確認しあい、互いに平和の大切さ、未来へさらなる連携を約束しあった。子ども夢体験で参加した中学生の代表による英語でのスピーチも素晴らしく、カーター市長も感激されていた。

○セントポール市内をバスで視察。州議事堂、セントポール大聖堂、地球星座などを見学。国指定歴史的史跡に登録されているミネソタ州議事堂は、独立戦争や南北戦争等の歴史を感じる、素晴らしく堂々たる建造物であり、一般の方々の見学のほか、コンサートや結婚式も行われていた。博物館のような感じもした。このような歴史感の深い場所での議論は議員の側としても責任をさらに深く感じるだろうと思うほどの重厚感だった。

長崎市平和公園にセントポール市から寄贈された地球星座が設置されているが、その本体はセントトーマス大学構内にあり、見学。子ども夢体験の中学生たちとともに写真撮影。

○セントポール・セインツ対ラウンドロック・エクスプレスの公式戦にご招待いただき、ゲーム観戦。市長と議長が始球式を行った。セントポール市は、アメリカの北部に位置しているため、冬が厳しい土地柄とのことで、夏の期間を最大に外で楽しむそうで、野球場は大変賑わっていた。ファンサービスが行き届いた、ゲームの合間の催しのほか、野球場自体がグループで使用できるバーベキューコーナーや子供の遊び場など様々な世代が楽しめるよう工夫しており、参考になった。



【 第3日目 】

○ミネソタヒストリーセンターにおいて開催された、平和イベント『破壊から友情へ：セントポール・長崎姉妹都市関係』に参加。鈴木市長は、被爆の実相や世界恒久平和の実現に向けた取り組みなどを講演したが、終了後スタンディングオベーションが起こり、拍手が鳴り止まなかった。子ども夢体験に参加した中学生16人による英語での『被爆紙芝居』が披露され、これもまたすごく拍手をいただく。その他、今年度セントポール市から長崎市へ招聘した高校生2人の長崎で学んだことの報告があり、平和記念式典やピースフォーラムに参加して「平和のために活動し、啓発することの重要性」を報告され、素晴らしかった。

また平和への誓いを話された女性の平和に対する熱い思いに触れ、感動した。終了後の彼女との懇談の中で、私が被爆2世であり、父は20年前に癌で既に亡くなっていることを話すと、本当に申し訳なく思うと言ってくださり、心に響くものがあった。また、会場では原爆パネル展や長崎とセントポールの子供たちが描いたキッズゲルニカの完成品の展示もあり、このような民間交流の積み重ねこそが大切だと感じた。

○ナショナルスポーツセンター視察

セントポール・セインツの国際開発ディレクターをされている増淵さんにご案内いただき、主に18歳以下の子供たちのためのナショナルスポーツセンターを視察させていただく。全米No.1、2の規模だという同センターは、広大な敷地にサッカー場、ゴルフ場、アイスホッケーの建物では、リンクが8つ。またバスケットボールリングが数多く並ぶ練習場や冬季、雪や雨でも使える屋内グラウンドなど全てが圧巻だった。日本からも優秀な人材を送ってほしいとの話も。スポーツに対する意識の高さなど学ぶことも多かった。

○コモ公園の視察後公式夕食会に参加。

公園には、戦後日本からワシントンへ送られた桜の木がセントポールにも30本寄贈されており、春には素敵に花を咲かせることだろうと容易に想像できるように整備されていた。姉妹都市交流50周年の折、設置されたグローバルハーモニーラビリンスの場所では、毎年、日本時間の8月9日に黙祷を捧げてくださっているとの事。また公園内には日本庭園があり、長崎市の樹木医、松田正美氏の指導の下、設計・建築が行われ、1979年9月に開設されたとのこと。開設は民間主導で行われ、松田さんも自費で渡米されたと伺い、感銘を受けた。

公園内の会場で行われた公式夕食会では、姉妹都市委員会の方々やロータリークラブの方々などと親しく交流ができた。結婚や仕事を機に渡米し、セントポール市で根を張っておられる様子などを伺うことができ、平和の大切さは人と人との交流、文化の違いなどを肌で感じ、許容することが大事であることを痛感。今後もどこの国にいても、自由に暮らしていけるよう平和を守っていかなければと固く思った。



【 第4日目 】

○ミネソタステートフェア視察

ミネソタ州の夏の終わりに開催される農業を中心としたお祭りであるステートフェアは、様々な展示やショー、たくさんのお店がある巨大な食の祭典で、広大な会場には、移動のためのゴンドラや移動遊園地などが設置され、数え切れない参加者で大盛況だった。

フェスティバルでは、三世四世会の皆さんによる「長崎ぶらぶら節」の盆踊りに続いて、自動車に引かれたフロートに乗ってパレードに参加。長崎からのアピールに多くの市民の皆さんから温かい拍手と歓声をいただいた。

最終日の最後は、ロータリークラブの会員の方のマンションにて送別会を開いていただく。訪問を振り返り、様々に語り合った。真心のおもてなしに、心から感謝申し上げます。



【 総括 】

今回の公式訪問に参加させていただき、最も強く感じたのは民間の力と持続することの大切さです。まず両市の姉妹都市提携を提案した方も、ルイス・W・ヒル・ジュニア氏という民間人の強い信念と働きかけにより、官が動き、日本で初めての姉妹都市が誕生したこと。

この事を長崎市民にもっとお知らせするべきだし、忘れてはならない事です。

彼の言葉の中で、「市民同士の友情が深まれば、争いのない平和な世界を築くことができるだろう」本当にその通りだと思います。

70年という長い時の中で、両市の子供たちの交換留学やスポーツ交流、セントポール市シビックシンフォニーと長崎交響楽団との交流、両市の姉妹都市委員会の方々の交流がありました。この姉妹都市委員会の方々は、平和への熱い思いをもって活動しておられることを感動を持って学ぶことができました。これまでの70年の歴史を肌で感じる事ができたことが、今回の訪問で本当に良かった点であると思います。

人と人とのつながりこそ、また国を超え、人種を超えたお互いの尊敬こそ、平和への第一歩だと痛感します。今後とも長崎市・セントポール市の交流の絆をさらに強く広げていきたいと思っています。

夜景サミット2025in台湾報告書（概要）

長崎市議会議員 木 森 俊 也

長崎市議会議員 毎 熊 政 直

1 訪問の目的

平成21年以降、夜景観光活性化に尽力する行政、民間企業が一堂に会する場として夜景サミットが開催され、長崎市は平成24年10月の夜景サミットにおいて、香港、モナコとともに「世界新三大夜景」に認定され、令和3年11月にはモナコ、上海とともに再認定を果たした。

そこで、日本の夜景の素晴らしさ、美しさを伝えることだけでなく、国内外に向けた観光コンテンツとして認知を図るべく、これまで多くの反響を呼んだ過去開催に引き続き、一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー主催による「夜景サミット2025in台湾」が開催されるため、長崎市においても「長崎夜景」の魅力、美しさなどをPRすべく、行政とともに市議会からも夜景サミットに参加することとした。

2 訪問期間 令和7年9月30日（火）～10月3日（金）（4日間）

3 訪問都市 台湾・台北市

4 行程

日時	時間	発・着	行程
9/30 (火)	7:46 12:20 13:45 16:30	長崎駅発 博多空港発 台湾桃園空港着 ホテル着	かもめ8号 BR105便 専用車にてホテルへ移動
10/1 (水)	12:00～ 14:00 14:00～ 18:30		林安泰古厝民俗博物館、龍山寺を視察 夜景サミット
10/2 (木)	8:00～ 12:00 17:00～ 22:00		国立台湾大学、霞海城隍廟、迪化街を視察 夜景サミット エクスカーション
10/3 (金)	6:35 9:35 12:55 14:54 16:27	ホテル発 台北桃園空港発 博多空港着 博多駅発 長崎駅着	専用車 JX840便 リレーかもめ37号

5 概要

10月1日（水）

(1) 12:00~14:00 林安泰古厝民俗文物館、龍山寺を視察

台北市で1987年に復元し、中国の伝統的な四合院民宅建築として160年以上の歴史がある林安泰古厝民俗文物館を視察した。その後、台北最古であり、最も格式が高く、仏教をはじめ道教や民間信仰など100以上の神様が祀られている寺院である龍山寺を視察した。



【林安泰古厝民俗文物館】



【龍山寺】

(2) 14:00~14:15 夜景サミット 第一部 開会式・説明会

サミットの説明、主催者代表等の挨拶、日本側代表挨拶、参加者紹介が行われた



(3) 14:20~15:30 第二部 日本の夜景紹介&事例発表

日本国内より、長崎市をはじめ、福岡県北九州市、神奈川県藤沢市、神奈川県横浜市、(株)東南植物楽園（沖縄県）、東京ドイツ村（千葉県）、御殿場高原時之栖（静岡県）、伊豆ぐらんぱる公園（静岡県）、ラグーナテンボス（愛知県）、あしかがフラワーパーク（栃木県）の10団体が参加し、各団体より各都市、施設の夜景についてプレゼンテーションが行われた。



(4) 15:30~17:30 第三部 商談会&SNS商談会

台湾エージェントと、参加都市等との商談会が行われた（市議会是不参加）

(5) 17:30~18:50 第四部 懇親会

10月2日（木）

(1) 8:00~12:00 国立台湾大学、霞海城隍廟、迪化街を視察

国立台湾大学は台湾屈指の名門大学であり、前身は日本統治下の台湾において1928年に台湾帝国大学として設立され、1945年に現在の名称となった。6つのキャンパス、11学部が設けられ、3万人以上の学生が通っている。

霞海城隍廟は台湾で人気が高い迪化街の南端にある160年以上の歴史を持つ廟で、縁結びの神様が祭られている。

迪化街は布地、漢方薬、乾物、なまこ等の高級食材などが売られる問屋街で、日本統治期の建築物も多く見られた。



【国立台湾大学】



【霞海城隍廟】



【迪化街】

(2) 17:00~22:00 夜景サミット エクスカーション（ナイトツアー）

中正紀念堂は中華民国初代総統であった蒋介石を追悼する目的で1980年に建てられた。台北市中山南路にあり約25万㎡という広い敷地の中にある。当時台北市内で最大の軍事エリアであったが、民主化の発展に伴い、思想が開放され、紀念堂前の広場は民主運動の集会場となった。西側にある大きな白亜の正門は「自由広場門」と呼ばれ、日が落ちるとライトアップされる。

この門をくぐった先にある広大な広場では、ランタンフェスティバルやライブなどさまざまなイベントも開催され、市民の憩いの場として親しまれている。



【中正記念堂】



【自由広場門】

陽明山から望む台北市の夜景

夕食会場として陽明山の山頂付近にあり台北の街を見下ろすことのできるレストランである「草山夜未眠」を訪れ、台北の夜景を鑑賞することができた。



「夜景サミット2025in台湾」に参加して

長崎市議会議員 木森俊也

2025年9月30日から10月3日までの4日間、夜景コンベンションビューローが主催する「夜景サミット2025in台湾」に長崎市訪問団（参加議員8名）の一員として参加させていただいた。台湾（台北市）は初めての訪問となるため、街並みや人々の暮らし、そして台湾経済などはどのようなものなのか、また、夜景サミットにおいては、以前（タイやベトナム）参加した経験から、どのような内容で開催されるのか期待しての訪問となった。

1日目、長崎市から福岡空港に移動、台湾の台北桃園空港へ向かいました。その後、滞在先のホテルに16時頃に到着し、1日目が終了。

2日目、「夜景サミット2025in台湾」に参加。今回の夜景サミットには、日本から長崎市をはじめ、沖縄県の(株)東南植物楽園、福岡県北九州市、千葉県の東京ドイツ村、静岡県の御殿場高原時之栖（ときのすみか）、神奈川県藤沢市、静岡県の伊豆ぐらんぱる公園、愛知県のラグーナテンボス、栃木県のあしかがフラワーパーク、神奈川県横浜市の10団体が参加し、夜景及びイルミネーションにおける事業報告や観光客受入に対する動画などが紹介され、その後、台湾の関係者や旅行エージェント、マスコミ等にも各自治体・団体からの取り組みや施設のPR、商談会が行われた。



夜景サミット2025in台湾



草山夜未眠レストランからの台北市の夜景

3日目、午前中は、台北市内にある台北大学の校内を散策、霞海城隍廟を見学。また、台湾の台北を代表する迪化街伝統的な文化と現代の台湾の魅力が融合した、歴史的な問屋街の迪化街を散策した。

午後からは、夜景サミットの夜景視察ツアーに参加した。夜景ツアーでは、まず初めに中世紀年堂を視察。中華民国初代総統であった蒋介石氏が1975年4月に亡くなったことにもない、追悼施設として建設され、1980年3月31日に完成した。

その後、草山夜未眠に向かった。この施設は、台北市の夜景を一望できるレストランとなっており、オープンして20年が経っている。11年前の夜景サミットでこの場所を訪れようと計画されていたが、大型バスでは道幅が狭く山を登れなかったため、断念した経過があった。



中世紀年堂のライトアップ



迪化街

【所感】

以上のように、台湾・台北市での滞在は3日間でありましたが、大変充実した3日間を過ごすことができました。街並みは10年前に訪問した中国（福州市）と似たような感じがした。

また、台北市の方々ともふれあうことができ、日本に対する友好的な関係を現地にて確認出来たことは大きな意義があったと感じた。また、台湾文化に触れるとともに、歴史を知れたことも良かったと思う。

夜景サミットに参加して、長崎の夜景が台湾国民に広く認知され、今後、どのようにして長崎市に台湾からの観光客を呼び込むか、今後の課題ではあるが、今回の夜景サミットを契機に、台湾国民が長崎市に来てくれることを行政と議会そして民間が一体となって取り組んで行くことも大事であると感じた。

最期に、コロナ禍を経てクルーズ船の入港も増加傾向にあり、長崎市を訪れる外国人も増えており、長崎市の夜景の魅力を台湾はもとより、他の国にも知っていただき旅行プランの一つとして積極的に取り入れていただき、夜型の観光客を増加させ宿泊増へとつなげていくことに期待したい。

夜景サミット 2025 in 台湾に参加して

長崎市議会議員 毎熊 政直

9月30日から10月3日にかけて台湾（台北）で開催された「夜景サミット2025」に出席しました。サミット当日は各都市の夜景紹介と事例発表、その後商談会が行われ、翌日のナイトツアーでは中正記念堂のライトアップの視察に参加しました。

特にサミットでは、同じ日本国内の横浜市や北九州市などにおけるインバウンド向けの夜景観光の取り組みについてお話を伺い、現在世界新三大夜景都市として認定を受けている長崎市における取り組みに対して強い危機感を覚えました。

長崎市は、現在人口減少が進み、その結果として経済規模の縮小が予想されます。こうした状況の中、多くの外国人観光客に長崎を訪れてもらい、宿泊していただくことで消費単価を高める取組が重要になると考えます。

そのために世界新三大夜景の認定を維持することはとても重要な施策であり、今後も長崎の夜景の価値をさらに磨き上げるため、新たな施策の検討やトップセールス、現地のエージェントとの意見交換、人脈づくりなど多様な手法を駆使しながら、夜景観光の推進と地域の経済活性化につなげていく必要があると強く感じました。

福州市友好都市提携 45 周年記念訪問団報告書

長崎市議会議員 五輪 清隆
長崎市議会議員 梅原 和喜
長崎市議会議員 木森 俊也
長崎市議会議員 林 広文
長崎市議会議員 福澤 照充

1 訪問目的

多くの長崎華僑の出身地である福州市との友好都市提携から 45 周年を迎えることから、公式訪問団を派遣し、これまでの交流の確認を行うとともに、記念行事への出席や技術交流などを通じて相互理解を図ることなどにより、さらなる関係強化と交流促進につなげる。

2 訪問期間

令和 7 年 11 月 10 日（月）～11 月 14 日（金） 5 日間

3 訪問都市

中華人民共和国 福建省福州市、上海市

4 訪問団構成 18 人

県訪中団から途中合流 5 人（市長、議長、国際課 2 人（うち通訳 1 人）、議会事務局 1 人）

福州市のみ訪問 13 人（議員 6 人、水産農林部 3 人、議会事務局 1 人、上下水道局 2 人、国際課 1 人）

5 福州市の概要と交流

(1) 福州市基礎情報

面積 11,968 平方キロメートル

人口 約 850.1 万人

特色 歴史文化都市として現在に至るまで 2100 年の悠久の歴史があり、唐朝以来、福建省の政治、経済、文化の中心。四季を通じて緑が豊かで、霜や雪はまれである。主な産業は電子、機械、化学工業、紡績、軽工業、食品、靴製造等である。

(2) 友好都市提携

提携日 1980（昭和55）年10月20日

経緯 多くの長崎華僑の出身地で歴史的なつながりがある。中日友好の船「明華号」の長崎訪問の際に、中日友好協会会長に要望書を提出、歴史的なつながりをもとに提携を行った。

6 日程

日付	地名	時刻	交通機関	用務等
11/10 (月)	長崎 ↓ 上海 ↓ 福州 ↓ 福州	13:20	MU520	午後、空路にて上海へ (上海浦東空港・第1ターミナル到着)
		14:15	航空機	到着後、入国手続(指紋認証)・乗継手続き
		16:05	MU5599	その後、空路にて福州へ (浦東空港・第1ターミナル出発)
		17:55	航空機	到着後、専用車にて福州市内へ
		18:25	専用車	宿泊ホテルへ移動
		19:20		福州市外事弁主催夕食会
11/11 (火)	福州	08:30	専用車	福州市海洋・漁業技術センターへ移動
		08:40		水産交流協議書調印式 【於：福州市海洋・漁業技術センター】
		09:30	専用車	その後、国潮博物館へ
		10:15		福州鑑賞金魚の栽培技術、金魚養殖基地見学 【於：国潮博物館】
		12:00		昼食（閩侯県手配）
		13:30	専用車	洋里下水処理場へ移動
		14:00		洋里下水処理場視察
		15:00	専用車	飛鳳山浄水場へ移動
		15:35		飛鳳山浄水場視察
		16:25	専用車	福州水質検測有限公司へ移動
		16:35		水質監視所の運営状況視察、技術交流
		18:00		福州市水務集団主催夕食会
20:00	専用車	宿泊ホテルへ移動		

日付	地名	時刻	交通機関	用務等
11/12 (水)	福 州	09:00	専 用 車	煙台山歴史的景観地区へ移動
		09:20		煙台山歴史的景観地区見学
		10:20	専 用 車	上下杭歴史文化町へ移動
		10:35		上下杭歴史文化町見学
		12:00		昼食（台江区手配） 【市長一行合流】
		15:00	専 用 車	三坊七巷へ移動
		15:30		三坊七巷見学
		17:00	専 用 車	表敬訪問会場「于山堂」へ移動
		17:30		福州市長表敬訪問
		18:00		福州市主催歓迎夕食会
		20:00		宿泊ホテルへ移動
11/13 (木)	福 州	09:00	専 用 車	福清黄檗山万福寺へ移動
		10:00		福清黄檗山万福寺見学
		11:00	専 用 車	空港へ移動
		12:10		福州長楽空港到着
	福 州 ↓ 上 海	13:25	MU5600	空路にて上海へ (上海浦東空港・第1ターミナル到着)
		14:55	航 空 機	
		15:30		到着後、専用車にて上海市内へ
		16:30	専 用 車	上海一網鮮へのトップセールス 相手方：ワンフレッシュ 代表王氏 上海漁業関連事情説明（資料） 相手方：一般社団法人長崎県貿易協会上海代表処 【於：上海国際貿易中心 35階】 終了後、夕食 夕食後、南京路散策 散策後、専用車にてホテルへ
11/14 (金)	上 海 ↓ 上 海 ↓ 長 崎		専 用 車	朝食後、専用車にて空港へ
		09:45	MU519	午前中、空路にて長崎へ (上海浦東空港・第1ターミナル出発)
		12:25	航 空 機	

7 水産技術交流

(1) 技術交流の経緯

1980（昭和 55）年に長崎市と福州市は友好都市提携以来、双方の協力によって、水産分野の友好交流は年々深まり、両市の重要な交流事業となっている。

これまで両市の水産分野での相互訪問は 49 回におよび、うち長崎市から福州市への訪問団の派遣は 20 回、福州市から長崎市への訪問団の派遣は 29 回となっている。両市は技術交流、優良品種の相互寄贈及び研修生の相互派遣などを行い、実績を重ねてきた。長崎市から福州市にクロアワビ親貝の寄贈を契機に、福州市において品種改良を行い、成長が早く病気に強いハイブリッドアワビを開発したことにより、福州市のアワビ養殖業は飛躍的に発展した。

福州市から長崎市に寄贈したコンブ種苗やハイブリッドアワビは、長崎市の増養殖の技術開発に寄与している。

また、両市の水産研修生の相互派遣は、技術交流を促進するばかりでなく、相互の理解と友情を深めてきた。長崎市に派遣された水産研修生は、研修終了後、それぞれの勤務先で、優良品種の導入、育苗技術開発などの分野で実績をあげ、中堅幹部として活躍している。

8 水道技術交流

(1) 技術交流の経緯

水道技術交流は、1990（平成 2）年、当時の福州市長 洪 永世（ほん よんしゅ）が来崎、水道施設を見学し、福州市と長崎市との水道技術交流が協議されたことがきっかけである。

翌 1991（平成 3）年 11 月、長崎市から 3 名の技術交流訪問団が福州市を訪れ、福州市と長崎市の水道技術交流が始まった。

今年で水道技術交流は 34 年目を迎えたが、この間 13 回、延べ 44 名の長崎市職員が福州市を訪問し、福州市からも 11 回、延べ 40 名が長崎市を訪問した。時機に応じた意見交換を行うことで、互いの水道技術の向上に寄与してきた。

9 福州市での主な行事内容

(1) 福州市海洋・漁業技術センター視察・水産交流協議書調印式【11月11日（火）】

福州市は、水産加工品の生産量が中国全土で第 2 位、漁獲量は 30 年連続第 1 位で、特産品としては、アワビ、鰻、金魚等があり、当センターは漁業の研究や技術の普及等の役割を果たしているとのことであった。

施設の視察後、長崎市水産農林部長及び福州市漁業局長における水産交流協議書調印式が行われ、両市の水産分野における協力をより一層促進するための共通認識が確認された。



(2) 国潮博物館及び金魚養殖基地視察【11月11日（火）】

国潮金魚博物館には、福州市の無形文化遺産である観賞用金魚の飼育技術に係る展示及び観賞用金魚が展示・販売されていた。潘氏金魚養殖場は、この地域にある多くの金魚の養殖場の中で一番大きい養殖場であり、約67万平方メートルの敷地内にいくつもの槽があり、金魚の養殖がおこなわれていた。





(3) 水道関連施設視察【11月11日(火)】

洋里下水処理場・飛鳳山浄水場・水質監視所

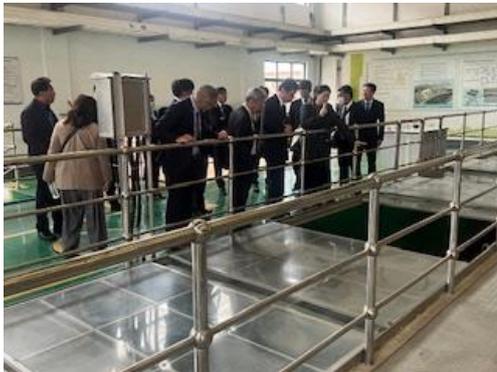
洋里下水処理場：敷地面積 35ha、1日の処理能力 60万 m^3

福建省内最大の下水処理場で本市の西部下水処理場の約7倍の処理能力に相当

飛鳳山浄水場：1日の処理能力 30万 t

福建省内最大の浄水場で手熊浄水場の約4倍の浄水能力に相当

福州市において、浄水の過程で生じる活性炭汚泥について、高熱処理し再利用が図られている点、また、浄水処理の過程において膜ろ過方式を採用している点について、本市としても参考にできるとのことであった。



(4) 福州市内視察【11月12日(水)】

煙台山歴史的景観地区、上下杭歴史文化町、三坊七巷

【煙台山歴史的景観地区】

- ・旧福建税関税務署長官邸見学
- ・旧米国領事館跡地アートスペース見学

アヘン戦争後の開港(1861年)に伴い、多くの領事館が建設され、現在はその建物が博物館や資料館、カフェやレストランとしてリノベーションされている。

【上下杭歴史文化町】

- ・無形文化財博物館見学

川を挟んだ通りは、かつて商業と貿易で栄えた地区であり、伝統的な建築物が多く見られた。建物の一部は当時のまま残されており、商人の暮らしの様子を想像することができた。

【三坊七巷】

- ・黄港(小黄楼)見学歴史文化地区見学

市街地の中心に位置し907年~960年の時期に形成された街で、南北の通りを中心に、西側に三坊、東側に七巷が配置されている。坊は役人や文化人等が多く住み、巷は庶民が住んでいた下町だったとのこと。明・清朝時代から現在まで続く街並みの中にも、お土産店やカフェなどの現代的な飲食店が景観に馴染んだ外観で立地されており、多くの観光客で賑わっていた。



(5) 福州市長表敬【11月12日（水）】

福州市長より、福州市と長崎市は唐の時代から交流を行い、福州の人々が長崎の新地中華街を作る中心となった。そのような友好関係をこれからも深めていきたいとの話があり、長崎市長からは、今年2月のランタンフェスティバルに福州閩劇（びんげき）芸術伝承発展センターの皆様に出演いただいたことや、5月にドラゴンボートレース大会に長崎のペーロンチームが出場し、国際部門で3位入賞の結果を得ることができたこと、また、8月には長崎の中学生が福州を訪問し、同年代の方々との交流したことなどをあげ、このような機会をいただいたことに対する感謝を示した。



(6) 福州市主催歓迎夕食会【11月12日（水）】

円卓のテーブルクロスには長崎市と福州市のマークが印刷されており、福州市の特産品であるジャスミン茶や仏跳牆（中国の伝統的なスープで、アワビ、干し貝柱などの魚介類を煮込み、その匂いに修行僧も壁を飛び越えて来るといわれる）等で、もてなしていただいた。



(7) 福清黄檗山万福寺見学【11月13日（木）】

万福寺は、日本の黄檗宗の開祖である隠元禅師が修行し、住職を務めた日本にもゆかりの深い寺院で、境内には隠元禅師の功績を称えるために建立された記念碑や、日本の黄檗宗が行った復興支援や寄付の功績を記録した石碑などがあり、隠元禅師の功績の大きさと日本と中国のつながりの深さを知ることが出来た。



(8) 上海漁業関係者へのトップセールス【11月13日（木）】

場所：上海国際貿易中心（上海市）

現地のパートナー企業である、ワンフレッシュ王社長と面会し、王社長より、日本産水産物の輸出が停止するまでの間は、2005年以降、長崎鮮魚の普及のため、長崎魚市と連携し、取組みを行ってきた。そのことにより、中国の消費者に受け入れられ、中国国内110都市、2400店舗以上に販路が広がったと説明があった。また、今後とも長崎鮮魚の普及のため、協力していきたいとの話があった。



(9) 上海市内視察【11月13日(木)】

南京路視察 南京路視察

夕食後、徒歩で南京路へ移動し、上海の中心街を視察した。通りの両側に歴史的な建物と現代的な建物が混在し、ライトアップされ、夜景がとても華やかだった。夜の時間帯にも関わらず外国人観光客も含め、多くの人で賑わっていた。



福州市友好都市提携45周年記念訪問団参加報告書

長崎市議会議員 五輪 清隆

訪問期間：令和7年11月10日（月）～14日（金）

訪問都市：中国（福州市・上海市）

11月10日（月）～14日（金）に実施された、福州市との友好都市提携45周年記念訪問団の一員として参加してきました。

訪問団は、鈴木市長（団長）・岩永議長（副団長）以下6人の議員と市職員など総勢18名でありました。

長崎と中国は400年以上も前から交流があり、長崎に住む華僑の方の多くが福州市出身であることから、両市は1980年（昭和55年）に友好都市提携を行い、今日まで公式訪問団の相互派遣や水道・水産分野における技術交流など、様々な分野で交流を行っています。

私は、15年前の30周年記念訪問に参加し、水産分野の研修会で昆布・アワビの養殖場所の調査を行いました。10年前は水道分野の交流団に参加しました。

水産分野では1980年（昭和55年）に長崎市と福州市は友好都市締結以来、友好交流が始まり技術交流・研修生の相互交流事業を行っています。

今回は今後も相互訪問団を派遣し、相互の漁業の視察・漁業資源と環境保全交流を深める水産交流協議書の更新（5年間）の調印式を行いました。

15年前はハイブリットアワビの養殖場を見学しましたが、今回は金魚の郷である金魚の養殖基地の見学を行いました。

長崎市と福州市との水道技術交流は、平成2年に当時の福州市長が来崎、水道施設を見学し、水道技術交流が協議されたことがきっかけとなり、平成3年11月、長崎市から3名の技術交流訪問団が福州市を訪れ両市の技術が始まり、今年で34年目を迎えています。

福州市には現在5か所の浄水場があり、運営する「福州市自来水有限公司」は、1954年に設立され2009年1月に国有企業から現在の有限会社に転換し、職員の管理職は福州市政府から派遣され企業の管理を行っていました。

その中で一番感じたことは24時間警備体制によるセキュリティ・防犯システムが強化されて部外者からの不法侵入に対して徹底されていました。（国策で取り組んでいるそうです）

又、下水処理場は浄水場に比べて歴史は浅いが、技術スタッフは若い女性が多く中国も環境問題を国全体で取り組んでいました。

長崎市では費用対効果を考えると、取り組めない内容を福州市は多額の予算で汚泥処理を世界一の施設を目指していることを実感しました。

上海市では上海一網鮮王経理と面談して長崎の鮮魚のトップセールスを行いました。

10年前に訪問した時に施設の説明を受けた職員とも出会い久しぶりの再会となり感無量でありました。

今回、福州市友好都市提携45周年記念訪問団の一員として水道分野・水産分野は、日本の技術が一番と認識していましたが、やはり現場を見て・聞くことは他国にも学ぶことが多いと思いました。

出張記録書

長崎市議会議員 梅原 和喜

用 務	中国福建省福州市友好都市提携 45 周年記念訪問 「長崎市公式訪問団による訪中」
用 務 先	中国福建省福州市及び上海市 福州市への公式訪問団視察他
期 間	2025 年 11 月 10 日 (月) ～11 月 14 日 (金)
旅費内訳	旅費(公費負担)
調査概要：	<p>主要行動経過は以下の通り。詳細については別紙参照下さい。</p> <p>11 月 10 日(月) (時間は現地時間 時差 1 時間 日本が 1 時間早い) 長崎空港発 13 時 20 分 MU520 便 上海浦東空港着 14 時 15 分 上海空港発 16 時 05 分発 MU5599 便 福州長楽空港着 17 時 55 分 宿泊先ホテル「ホリディインホテル」10 日 (月) ～12 日 (水) 11 月 11 日(火) 午前中 水産交流協議書調印式 (於：福州市海洋と漁業技術センター) 金魚博物館 (金魚の養殖技術視察) 午後 福州市下水道施設 2 か所を視察 11 月 12 日 (水) 午前中 福州市内視察 福州市表敬訪問 (両市長らと交流晩さん会) 11 月 13 日 (木) 午前 隠元和尚ゆかりの「万福寺」視察 午後 上海市へ移動 福州長楽空港発 13 時 25 分 上海浦東空港着 14 時 55 分 水産関係者との意見交換 (上海貿易中心) 宿泊先 バイ・ハイアットホテル 13 日～14 日 11 月 14 日 (金) 上海浦東空港発 9 時 45 分 MU519 便 長崎空港着 12 時 30 分</p>

全体スケジュール

11月10日(月)	長崎空港発 13時20分発 → 上海浦東港着 14時15分 上海浦東空港発 16時05分 → 福州長楽空港 17時55分 到着後 福州市国際担当部局歓迎夕食会 宿泊先 ホリディインホテル (12日までの3泊)
11月11日(火)	午前中 水産交流協議書調印式 於：「福州市海洋と漁業技術センター」 金魚博物館 (金魚の養殖技術施設視察) (福州市招待の昼食会) 福州市内ホテルにて 午後 福州市下水道施設2か所の視察 夜：福州市下水道所管部局の夕食会
11月12日(水)	午前中 福州市内視察 福州市との昼食会 → ホテルへ移動 (市長らと合流) 福州市内視察 福州市表敬訪問、両市長らと晩さん会
11月13日(木)	午前 隠元和尚ゆかりの萬福寺訪問 昼食 (福清市提供のお弁当) 福州長楽空港発 13時25分発 上海浦東空港着 14時55分 上海水産事業者と意見交換 (於：上海国際貿易中心) 長崎市訪問団全員による夕食会
11月14日(金)	上海浦東空港発 9時45分 長崎空港着 12時30分 長崎空港にて到着後解散

●11日(火)

○金魚博物館視察 (金魚養殖場の視察)

○下水道施設視察 (福州市にある4箇所の下水道施設の2施設を視察)

●12日(水)

○福州市内の海外居留地施設の視察

○市長一行と合流し福州市歴史地域の視察

○福州市長、市幹部を表敬訪問 (両市長意見交換 両市出席者の紹介

: 記念撮影の後、夕食会

●13日(木)

○福州市の「万福寺」を訪問 → 上海市へ移動し、水産関係者と意見交換

●14日(金)

上海浦東空港発 9時45分 長崎空港着 12時30分 (到着後解散)

「所感」

- ・福州市友好都市提携 45 周年記念訪問団のメンバーとして訪中しました。
副議長を拝命していた折、2019 年 7 月に上海市で夜景サミットが開催され、長崎市の訪問団として参加した以来の訪中でした。福州市へは初の訪問でした。
- ・上海浦東空港経由で福州市へ向かいますが、上海浦東空港の膨大な広さ（羽田空港、関西空港、伊丹空港併せても足りない広さ）に驚きました。
搭乗ゲートは 150 か所、あったように記憶しています。
- ・福州長楽空港では福州市国際部担の職員が迎えに来られていて、ホテルまで同行して頂きました。宿泊先で早速歓迎の夕食会が開催され福州市の料理を満喫しました。
長崎市訪問団の利便性を考慮して頂き、移動時間ゼロでの夕食会に心遣いを感じました。
- ・2 日目の海洋センターでは、養殖業者に気象情報提をいち早く届けるための気象情報収集技術が進んでいました。海面の温度、風速などを福州市海域毎にリアルタイムで映像にて確認できるシステムは荒天による漁業被害の低減に貢献していました。
- ・午後は下水道施設の 2 か所を視察しました。
福州市内には 4 か所の下水道施設が有り、1 日の処理能力は 90 万トンであり、長崎市が提供した下水道技術が至る箇所で見受けられました。
処理施設水槽には水槽落下時の人命救助のためのロープ付浮き輪も拙著されており、施設内はグリーン色の安全通路が整備されていました。
- ・中央監視室では 2 名の方が常駐しており、3 交代による 24 時間体制が構築されていましたし、施設内への不審者確認の防犯カメラも約 30 か所設置されていました。
施設建設に伴い近隣住民へは環境アセスメントにて理解を得られているとの事でした。
- ・水質検査においても、熟練の技術者が配置されており、外部からの水質検査依頼にも柔軟に対応しているとの説明があり、検査技術のい高さで検査・計測器も十分に設置されていることを感じました。
- ・市長による表敬訪問には福州市長含めて約 10 名の幹部の方々が迎えてくれました。
これまでの友好の流れ、人的交流、文化交流には双方とも感謝の意を伝えました。
今回の訪問に対する、福州市関係者の皆様方お 1 人、お 1 人のやさしさと、温かい心遣いに感銘を受けました。
- ・今回の訪中に関し、御尽力頂いた長崎市、福州市の関係者の皆様方に敬意を表すると共に、長崎市訪問団の皆様方々と友好の 5 日間を過ごせたことに感謝申し上げます。

【福州市友好都市提携 45 周年記念訪問団報告書】

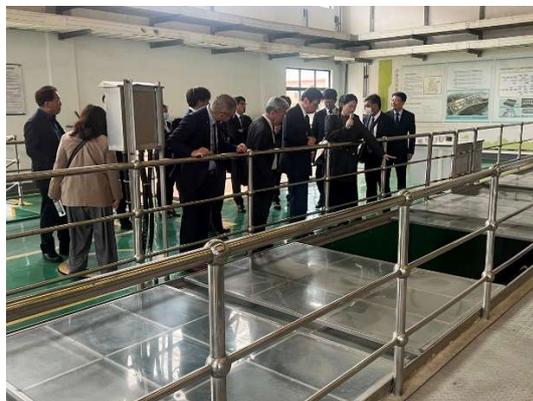
長崎市議会議員 木森 俊也

2025年11月10日から14日までの5日間、「福州市友好都市提携45周年記念公式訪問団」の一員として参加させていただきました。

今回は前回10年前の友好都市提携35周年記念訪問以来の中国訪問でありました。長崎空港を出発し、上海経由での福州市入り。福州の空港（長楽空港）から市内までの移動の間に感じたことは、前回とは違い高層マンションが建ち並び街の雰囲気も違ったような感じがしました。

2日目、訪問団一行は、午前中に福州市の海洋・漁業技術センターを訪問し、長崎市と福州市海洋与漁業局との間で、長崎市と福州市は相互訪問を通じて、友好往来を深めている。今後も必要な時期に相互訪問団を派遣し、相手の漁業を視察し、漁業資源と環境保全、漁業科学技術、漁業貿易などについて交流をふかめる。ことなどを主な内容とする「長崎市と福州市の水産交流協議書」の調印式が行われました。その後、国潮博物館へ移動し、福州鑑賞金魚の養殖場を視察しました。

午後からは、1991年から水道技術交流が始まり、この間13回、延べ44名の市職員が福州市を訪れ、福州市からも11回、延べ40名が長崎市を訪問し、意見交換を行うことで水道技術の向上を図ってきました。そのような中、私たちは福州市にある前回も視察した洋理下水処理場、その後、国有企業が管理している飛鳳山浄水場の視察を行いました。特に浄水場では安全管理に万全の態勢を取っていること、また、下水処理場では長崎市と異なる浄化方法との説明を受けました。



3日目は午前中に豊かな歴史とユニークな建築様式を持つエリアの煙台山歴史的景観地区を訪れ、その後、中国と西洋の建築が融合した福州文化の特徴と典型的な福建商人文化が融合した伝統的な地区、上下杭歴史文化町の視察を行いました。

午後から文人などが多く住んでいた所と庶民が住んでいた下町で、明・清時代から現在まで続く町並みである三坊七巷を視察しました。夜には呉賢徳福州市長表敬訪問のため福州市が所有する于山堂に移動し、福州市長をはじめとする10名の幹部の方に出迎えていただきました。



4日目は午前中に福清市を訪れ、長崎市とも関係の深い1200年の歴史がある寺院「黄檗山万福寺」を視察しました。

午後からは、上海市に移動し、上海国際貿易中心において、上海の水産事業者である上海一網鮮の代表者から現状とこれまでの経緯を説明いただいたのち、上海での最大の繁華街である「南京路」、上海の夜景を見学し視察全日程を終了しました。



このように滞在5日間の中で、改めて中国の広大さや、10年の月日の中での都市の発展に凄さを感じました。また、各地を視察する中で、歴史と文化の深さを強く感じたことなど、他国を訪問し目で見て、肌で感じることの大切さを今回の中国訪問でも痛感しました。一つ残念なことは、長崎市と中国・福州市はこれまでの長い期間、人的交流・文化的交流を友好的に行ってきたが、政治的な問題で交流が途絶えないかとの不安も感じていました。この問題を両国が乗り越え一層の交流が深まることを今後期待したいと思います。また、鮮魚の再開に向けては、上海市の水産事業者も期待していることから、早期の開会を期待し、長崎市と議会が一体となり取り組む必要性を感じました。

最後に福州市の外事弁（国際交流課）の職員が空港での出迎えから見送りまで全てに同行していただいた心遣いに感謝しかありません。このような機会を与えていただいたことに感謝し、今後の議員活動にも活かしていきたいと思えます。

福州市友好都市提携45周年記念訪問団に参加して

長崎市議会議員 林 広文

【第1日目】

上海経由で福州長楽国際空港に到着。10年振りであるが、建物はすっかりリニューアルされていた。福州市外事弁の職員の皆さんのお迎えがあり、専用のマイクロバスにて市内へ。福州市での3日間は視察、移動は常に有限公司の方をはじめ中国側のお世話をいただく。

福州市外事弁室主催の夕食会では和やかな雰囲気の中で歓談する。福州市での宿舎は今年オープンしたばかりのホリデイイン福州であった。



【第2日目】

朝8時30分に福州市海洋・漁業技術センターへ。長崎市との「水産交流協議書」調印式が行われ、長崎市水産農林部長と福州市漁業局長の両名がそれぞれサインした。この水産交流協議書は5年ごとに更新しており、前回5年前はコロナ禍であったため、リモートによる調印式であったが、今回は直接訪問でき握手を交わせたことは感慨深い。

両市の水産技術交流は単なる技術交流だけでなく、相互に水産研修生を派遣するなど、相互理解と友情を深めてきた。

その後、センター内を見学。45年前に長崎から渡ったアワビの種苗はその後、福州において改良が重ねられ、現在アワビ生産量は福州市が中国国内でトップになっている。品種改良したコンブも中国国内生産量の50%を占めるまでに成長しており、長崎市との技術交流

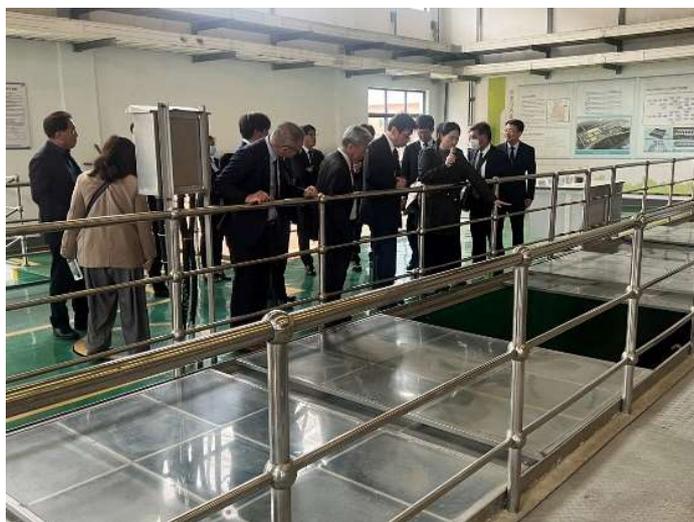
により育まれた海産物が福州市において主要な産業になっていることに誇らしくもある。



10時15分からは国潮博物館に移動し、福州鑑賞用金魚の栽培技術、養殖基地を見学した。金魚の養殖は福州市で最も規模が大きく、大きな産業となっている。

午後、13時30分より「洋里下水処理場」を現地視察した。

10年前も訪問したが、ここの処理能力は60万 m^3 。長崎市の下水処理場は最大規模でも7万 m^3 であることを考えると、とにかくスケールが全く違う。処理設備についても最新鋭のものが採用されており、もちろんコンピュータシステムにより集中制御されていた。



福州市との水道技術交流は34年目を迎えており、この間13回、延べ44名の長崎市職員が福州市を訪問している。

その後、15時に「飛鳳山浄水場」に移動。この施設は初めての訪問だった。この施設も規模が大きく、1日の処理能力は30万 m^3 ある。本市で最も大きい手熊浄水場で8.5万 m^3 であるので約4倍である。すべてにおいてスケールが大きいのが中国式である。

16時25分には「福州市水質検測有限公司」に移動。この施設は水質管理、検査などを行う民間企業であったが、国の機関に格上げとなり、福建省内のすべての河川の水質検査や企業からの検査依頼を受け付けている。最新式の設備により407項目の各種検査が可能。

2日目は水産、水道分野の計5か所を視察する強行スケジュールであったが、実りの多い視察であった。

【第3日目】

午前中は福州市の煙台山歴史的景観地区、上下杭歴史文化町を視察した。煙台山地区は租界地区として19世紀には福州の開港に伴い世界各国の領事館などが置かれました。長崎市の南山手地区と同じような歴史があり、現在は観光スポットとしても有名である。上下杭歴史文化町は中国と西洋の建築が融合した福州文化の特徴を有する伝統的地区となっている。

午後からは三坊七港を見学した。明・清時代からの街並みが保存されており、伝統工芸品などの展示も行われている。



17時から福州市長への表敬訪問へ。鈴木長崎市長、岩永市議会議長とともに呉賢徳福州市長を表敬。活発な意見交換を行った。

呉市長からは中国唐の時代に日本の空海が福州経由で当時の長安に渡った史実の紹介があった。また、世界各国に広がっている華僑460万人のうち、その多くが福建省出身であり、長崎にも福州市出身

者が新地中華街に拠点を築いていることに言及し、両市の友好をこれからも深めていくことの重要性を語られました。その後も今後の友好都市交流の在り方について、両市長より率直な意見交換が行われました。

両市長が対面において率直に意見を交わせたことに大きな意義があったと感じました。

【第4日目】

空路、上海市へ移動。午後から上海国際貿易センターにて鈴木市長による長崎鮮魚のトップセールスに同行した。相手方は海産物輸入商社の「ワンフレッシュ」の王代表。

長崎鮮魚の中国への輸出は福島第一原発の処理水放出開始以降、輸入停止措置がいまだに解除されていないが、北海道産のホタテなど、一部輸入再開の動きがある。

王代表によれば、中国ではマグロが人気で、輸入停止前は長崎の鮮魚は上海経由で中国国内に広く流通しており、デパートなどでもよく売れていた、とのこと。輸入が再開されれば、更なる販路拡大は大いに期待できるとの発言もあった。

長崎鮮魚についても輸入再開のタイミングが近づいている観測であったが、日本国内での首相の国会答弁をめぐる問題により、日中関係が悪化し、輸入再開の目途は潰えてしまっている。

その後、上海市内の「南京路」などを視察した。



【総括】

今回、福州市友好都市提携45周年記念訪問団として訪中しました。中国訪問は2回目となります。

11月10日からの4泊5日であったが、国内外で様々な事案が持ち上がった時期と重なり不安があったことも事実です。しかしながら、支障なく視察、交流することができ、温かく迎え入れていただいた福州市をはじめ関係者の皆様には感謝の思いでいっぱいです。

水産、上下水道分野での長崎市と福州市の技術交流、人的交流は10年前よりもさらに深化していると感じた。

中国国内では不動産不況もあり、景気低迷気味であるとのニュースも聞いていたが、福州市、上海市ともに10年前よりもさらに発展している印象であった。

日中間には国同士の関係において、様々な課題が横たわっていることも事実であるが、こういう時だからこそ都市間交流、市民交流など国同士の関係を越えて直接行き交うことの重要性を感じた。日本と中国の関係はお互いに引越はできない地理的関係を考えると、困難な懸案はあったとしても互いの目を見て、胸襟を開いて話し合うことこそが肝要である。

今後とも、この交流が実りあるものとして継続できるように、普段から中国理解のための研鑽や、冷静な国際情勢の分析等、議員としての資質を高めるためにも、率先して取り組んでいく決意である。

福州市友好都市提携 45 周年記念訪問 視察報告書

長崎市議会議員 福澤 照充

1. 訪問概要

- 期間：令和 6 年 11 月 10 日～14 日（4 泊 5 日）
- 目的：長崎市・福州市友好都市提携 45 周年に伴う公式訪問および水産・上下水道・歴史文化施設等の視察
- 同行者：鈴木長崎市長、岩永市議会議長ほか市議会議員 5 名及び関係者

2. 視察内容

【第 1 日目：11 月 10 日】

空路にて上海浦東空港を経由して、福州長楽国際空港へ。

20 年ぶりの海外渡航であり、初訪中。上海空港に着陸する時に見えた洋上風力発電の風車の数に驚く。20 本以上はあり、中国のエネルギー開発の熱量を感じる。

上海空港での入国審査では指紋登録など IT 化が進んでおり、中国の技術導入の速さを実感した。福州市自来水有限公司の出迎えを受け、市内へ移動。

夜には福州市外事弁公室主催の夕食会が開催され、両市の交流の歴史を振り返りながら懇談を行った。宿舎は今年開業のホリデイイン福州であった。



【第 2 日目：11 月 11 日】

① 福州市海洋・漁業技術センター

- 長崎市との水産交流協議書の調印式を実施。
- コロナ禍の前回はリモート調印であったが、今回は対面での署名と握手が実現。
- 両市は研修生の相互派遣を続け、45 年の交流の成果が安定的に積み重なっている。

センター内視察では、45 年前に長崎から送られたアワビ種苗が改良され、福

州市は中国国内最大のアワビ生産地に成長している事例を確認。またコンブの品種改良も中国全体の約 50%を占めるまでに発展しており、長崎市との協力が産業育成に寄与していることに誇りを感じた。

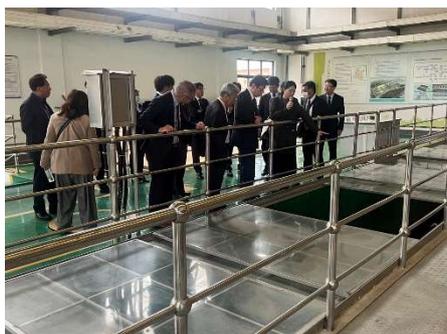
海水品質の常時モニタリングシステムが導入されており、観測データは自動的にデータセンターへ連携され分析される。「人の力を借りないで」データ収集を行うことで漁業従事者の安全確保にも貢献している。観測データから、沿岸水温は過去の 25~26° C から 28~29° C へと徐々に上昇しており、「赤塩」(赤潮)の発生や海流の変化についても懸念が示されていた。中国は IT 大国だが、海水のデータ収集も IT が浸透している印象。本市においても赤潮被害なども近年頻発しており、IT の活用は進めるべきだと感じた。



② 国潮博物館

福州鑑賞用金魚の栽培技術、養殖基地を見学した。福州市は中国でも金魚の養殖が最も盛んで、規模も大きく 500 年以上の歴史がある。また、即売もされており、動画配信ができるスペースがあり、活用されているとのことである。かつてインドの総理大臣への誕生日プレゼントとして、この福州の金魚が贈られたことがあり、パンダ外交ではないが、国際外交の場で金魚が果たした役割を知ることができ興味深かった。

③ 洋里下水処理場



処理能力 60 万 m³ の巨大施設を視察。長崎市最大の処理場 (7 万 m³) と比較しても規模は桁違いであり、最新鋭設備と集中制御システムにより高効率な運転が行われていた。

水道技術交流は 34 年目、延べ 44 名の長崎市職員が派遣され、着実な技術深化が進んでいる。

④ 飛鳳山浄水場

1日30万 m^3 を処理する大規模浄水場を初視察。長崎市の手熊浄水場の約4倍である。水の節約を図るために日本から導入した泥の排除技術が導入されている。この施設では、新規の活性炭を購入する際に、納入業者が使用済みの活性炭を回収するシステムを構築しており、長崎市などで課題となっている使用済み活性炭の処分問題に対する解決策のヒントになるのではと思われた。



⑤ 福州市水質検測有限公司

国に格上げされた水質検査機関で、407項目に及ぶ検査に対応。最新鋭の分析装置を多数保有しており、多岐にわたる項目の精密な検査が可能。高度な分析能力により、顧客からの水質に関する問い合わせや依頼に対し、最短1週間で詳細な検査結果を報告できる体制が整っている。

【第3日目：11月12日】

① 歴史的景観地区の視察

- 煙台山歴史的景観地区：19世紀の開港期に各国領事館が置かれた租界地で、洋館が多い。長崎の南山手地区との共通性を強く感じた。
- 上下杭歴史文化町：中洋折衷の建築が特徴で、福州の歴史文化を象徴する地区である。テレビや動画配信などのロケスポットとしても人気とのことである。
- 三坊七巷：明・清時代の街並みが保存され、伝統工芸や文化展示が充実。明の創設者である朱元璋に慮って門に朱色が使えなかったことから、色で建物の年代を判断することや、琉球との交易が盛んで明・清代の琉球貿易の商人の邸宅があったことなど興味深い歴史を学べた。

② 福州市長表敬訪問

呉賢徳市長、鈴木長崎市長、岩永市議会議長と意見交換。

- 空海が福州を經由して長安に渡った歴史や華僑 460 万人のうち多数が福建省出身で、長崎にも深いつながりがあることなど、両市の歴史的・文化的関係の深さが語られた。



【第4日目：11月13日】

① 午前中福清市の黄檗山万福寺（重要文化財）を訪問。

日本でなじみの隠元禅師が46歳の時住職となり、当時中国においても高名な僧として、その名声は日本に届いていたと記されている。共産主義国であるが、寺院の修繕や建築費等は華僑などの寄付で賄っているとのことに驚く。

② 午後、上海市に移動し、上海国際貿易センターで鈴木市長による長崎鮮魚のトップセールスに同行した。

- 相手：海産物輸入商社「ワンフレッシュ」王代表
- 中国ではマグロの人気が高く、輸入停止前は長崎鮮魚が広く流通していた。
- 現在、北海道ホタテの一部輸入再開など動きはあるものの、政情により再開時期は不透明。
- 相手方は2024年からは長崎鮮魚を香港、台湾、シンガポール、マレーシア、韓国など、アジアの他地域への輸出に注力しうまくいっており、アメリカや欧州市場への輸出も努力したいと表明。
- 輸入停止が続く状況下でも、将来的に中国本土への輸出が再開された際には、長崎産水産物が再び市場で最も高いシェアを占めることになると再開後の販路拡大に大きな期待が示された。



③ トップセールス終了後、市内の商業エリア（南京路など）を視察した。

3. 総括

今回の福州市訪問は、政治環境の不安定さから直前まで日程調整が難航したが、福州市および関係各位の心温まる歓迎により、無事に全行程を終了できた。45年に及ぶ友好都市交流は、水産・上下水道といった具体的な技術協力と人的往来を通じて、一層深みを増していることを肌で認識できた。訪問先の福州市、上海市はいずれも活気に溢れ、目覚ましい発展を遂げており、中国都市の巨大なスケールと、AIやITなどの新しい技術を導入する迅速さを目の当たりにした。

初の中国訪問であったが、現地では出会う人々は皆、親切に対応してくださり、報道で得ていた情報と実際の現地の様子の違いを確認できた。政治状況が厳しい時期だからこそ、都市間交流や市民レベルの交流が果たす意義は計り知れない。

中国と長崎市は長い交流の歴史があり、重要な隣人である。今後も相互理解をさらに深め、友好関係の継続に努めるとともに、議員として国際情勢の冷静な分析と中国理解の見識を深めることに、一層取り組んでまいりたい。

以 上

議長会等の動き

(令和7年11月～令和8年2月)

会議名	九州市議会議長会第4回理事会
開催月日・場所	1月27日 北九州市 リーガロイヤルホテル小倉
概要	次の事項について協議し、了承又は決定した。また、その他の項目について説明がなされた。 <ol style="list-style-type: none">1 役員の就任及び補欠選任について2 事務報告3 第101回九州市議会議長会定期総会等の日程について4 第101回九州市議会議長会定期総会までの令和8年度分本会経費の支出について5 全国及び九州市議会議長会の役員推薦について6 第102回全国市議会議長会定期総会の部会提出議案及び第101回九州市議会議長会定期総会の県支部提出議案について7 第102回九州市議会議長会定期総会の開催地について8 その他<ol style="list-style-type: none">ア 令和8年度九州市議会事務局長会の開催地についてイ 令和8年度議員年金制度に関する研修会の開催地についてウ 令和8年度西日本市議会職員研修会の開催地について

会議名	全国市議会議長会第243回理事会・第121回評議員会合同会議
開催月日・場所	2月4日 東京都 都市センターホテル
概要	一般事務報告の後、令和8年度本会各会計予算(案)、令和8年度「上下水道の老朽化・防災対策に関する特別委員会」設置要綱(案)、本年5月開催の第102回定期総会までの間における役員の補欠選任等の取扱い(案)及び全国市議会議長会職員給与規程の一部改正(案)について協議が行われ、了承された。 また、地方制度調査会の設置、厚生年金への地方議会議員の加入状況及び今後の会議の予定について説明がなされた。

会 議 名 全国市議会議員互助会第15回代議員会
開催月日・場所 2月4日 東京都 都市センターホテル
概 要 令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）について協議が行
われ、了承された。

委員会だより

(令和7年12月上旬～令和8年2月中旬)

定例会中・臨時会中の常任委員会は除く。

【議会運営委員会】

- 開催日 12月2日
- 事 件
- 1 議会関係付議事件について
 - 2 請願の取扱いについて
 - 3 陳情の取扱いについて
 - 4 議員活動を長期間欠席する場合等の議員報酬の取扱いについて
 - 5 長崎市議会BCP(業務継続計画)の一部改正について

概 要

1 について説明を受け、了承した。
2、3及び5 についてそれぞれ協議し、決定した。
4 について報酬の支払い事務を行っている総務部との協議・調整等を行い、2月定例会の議会運営委員会の中で改めて協議することになった。

- 開催日 12月12日
- 事 件
- 1 追加付議事件について
 - 2 追加議案の委員会付託分類について
- 概 要
- 1 について説明を受け、了承した。
2 について協議し、決定した。

- 開催日 1月6日
- 事 件
- 1 令和8年第1回長崎市議会臨時会について
 - 2 令和8年第1回長崎市議会臨時会の運営について
 - 3 意見書の取扱いについて
 - 4 会議録署名議員及び予備署名議員の指名について
- 概 要
- 1 について説明を受け、了承した。
2 について協議し、決定した。
3 について会派持ち帰りの上、1月8日開催の議会運営委員会において協議することになった。
4 について会議録署名議員について協議して決定し、予備署名議員については、1月7日の正午までに報告することとなった。

- 開催日 1月8日
- 事件 1 意見書の取扱いについて
2 会議録署名議員及び予備署名議員の確認について
- 概要 1及び2について協議し、決定した。
- 開催日 1月13日
- 事件 1 常任委員会の委員及び正副委員長の割り振りについて
2 議会運営委員会の委員及び正副委員長の割り振りについて
3 各委員会の委員名簿の提出について
- 概要 1及び2について協議し、決定した。
3について、1月22日までに提出することとなった。
- 開催日 1月26日
- 事件 1 常任委員及び議会運営委員の確認について
2 その他
- 概要 1について協議し、決定した。
2について、令和8年度の当初予算からの基金積立金については、基金を所管するそれぞれの常任委員会に分割付託することとなった。
- 開催日 2月10日
- 事件 1 令和8年第2回長崎市議会定例会について
2 令和8年第2回長崎市議会定例会の運営について
3 議会の議決に付すべき特に重要な公の施設の廃止に関する条例の規定による特別多数議決について
4 特別委員会について
5 議員活動を長期間欠席する場合等の議員報酬の取扱いについて
6 長崎市議会政務活動費の交付に関する規則及び長崎市議会政務活動費の交付に関する規程の一部改正について
- 概要 1、3について説明を受け、了承した。
2及び6について協議し、決定した。
4について、特別委員会正副委員長会議の結果について報告があり、了承した。また、特別委員会の設置については、会派に持ち帰りの上、2月26日開催予定の議会運営委員会において協議することとなった。
5について会派持ち帰りの上、2月26日開催の議会運営委員会において協議することになった。

【旧合併町活性化対策特別委員会】

開催日 12月10日
事 件 総括質疑について
概 要 調査項目全般にわたる総括質疑を行った。

開催日 1月23日
事 件 調査報告書のまとめについて
概 要 調査報告書のまとめ（案）について検討を行った。

【官民連携在り方検討特別委員会】

開催日 12月10日
事 件 総括質疑について
概 要 調査項目全般にわたる総括質疑を行った。

開催日 1月21日
事 件 調査報告書のまとめについて
概 要 調査報告書のまとめ（案）について検討を行った。

【長崎港活性化対策特別委員会】

開催日 12月10日
事 件 総括質疑について
概 要 調査項目全般にわたる総括質疑を行った。

開催日 1月22日
事 件 調査報告書のまとめについて
概 要 調査報告書のまとめ（案）について検討を行った。

図書室だより

(令和7年12月~令和8年2月)

新刊図書

図書名	編著者名	発行所
アルゴリズム・AIを疑う	宇田川 敦史	集英社
定年がなくなる時代のシニア雇用の設計図	宮島 忠文 ほか	日経B P 日本経済新聞出版
スマホの中の子どもたち	エミリー・ワインスタイン ほか	日経B P
子ども会と地方自治	三浦 哲司	明石書店
カーボンニュートラルと社会	鷲津 明由 ほか	晃洋書房
地方を救う官民共創ビジネス	E Yストラテジー・アンド・コンサルティング ほか	日経B P
日本のバス問題	佐藤 信之	中央公論新社
障害と向き合う美術館	中西 美穂 ほか	水曜社

調 査 資 料 報

〔令和8年2月〕

編集・発行 長崎市議会事務局議事調査課

〒850-8685 長崎市魚の町4番1号

TEL (095) 829 - 1200

FAX (095) 829 - 1199